

に

資料 1

「公共交通に関する町民アンケート調査」
調査結果

平成26年1月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

目次

I	調査の概要	2
II	調査結果	
問1	アンケート対象の属性	3
問2	外出の頻度や目的	8
問3	公共交通での移動について不便を感じているか	15
問4	コミュニティバス等の利用実態について	18
問5	コミュニティバス等の事業実施効果について	20
問6	税投入・サービス水準に対する評価について	22
問7	まったく利用しない人の理由等について	26
問8	公共交通への転換見通しについて	28
III	調査票	30

I 調査の概要

- (1) 調査対象 町内在住者 3,000 人
(2) 調査方法 郵送配布・郵送回収方式
(3) 調査期間 平成 25 年 10 月 21 日（月）発送・11 月 8 日（金）回収
（実質は 11 月末までの回収分をもって集計）
(4) 標本数 配布数 3,000 票 回収数 1,510 票（回収率：50.3%）
(5) 結果概要

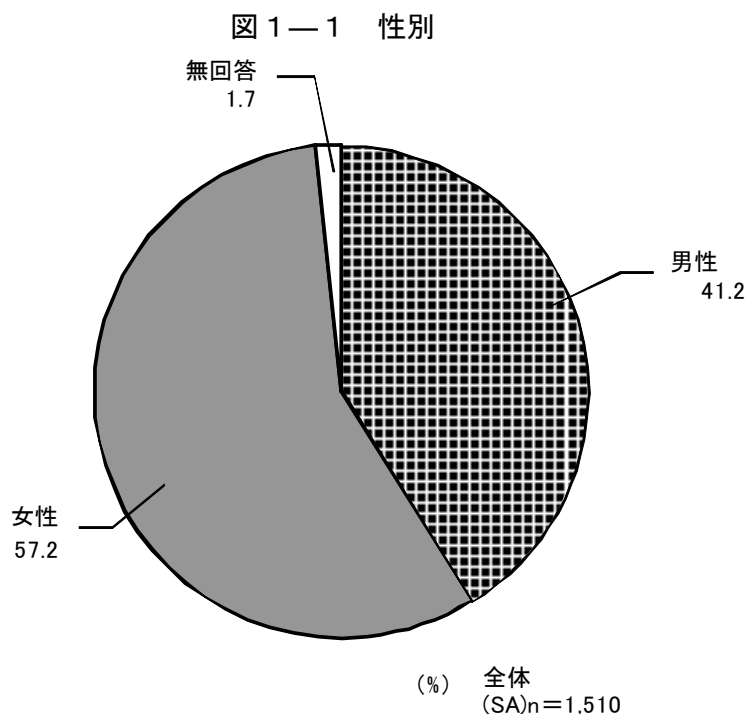
- 利用者属性として、「自動車免許を持っていない」割合は 23.0%。外出について困難な状況を確認すると、「介助を必要とする・困難な状況にある」サンプルは 3.9%。
- 問 3：公共交通の移動について不便を感じているか確認すると、約 3 割の住民が感じている。その理由は、「自宅からバス停留所までが遠い」63.7%、「使いたい時間に運行していない、時間が合わない」が 51.6%の割合で選択されている。
- 問 4：コミュニティバスの利用実態は 8.2%で 1 割にも満たない。利用目的は買い物と通院。
- 問 5：コミュニティバス等の実施効果について、「生活環境に与えた変化」を確認すると、「何も変わらない」との回答が 56.4%で、「便利になった・豊かになった・安心感を持てた」との回答は半数に満たない。
- また、「外出機会が増えたか」どうかを確認すると、「増えた」は 2.5%に留まり、「何も変わらない」が 75.2%と多数を占めた。住民の外出行動に対する効果は示されなかった。
- 問 6：1 世帯当たり年間約 1,350 円の税負担の水準については、概ね妥当だと評価された。今後の公共交通サービスの水準については、現状のまま維持すれば過半数の住民からは特に問題があるとは指摘されない結果が示された。
- 事業改善に対する意向について、コミュニティバスの運行本数の見直しについては、約半数の 49.5%が「わからない」と回答。利用の少ない停留所を見直すルートの見直しは、過半数が賛成と回答した。
- 問 7：まったく利用しない人は、周辺に停留所が「ある」と 52.0%の人が回答し、「自宅の近くに停留所が無い」人は 21.5%に留まる。利用しない理由は、「自分で車を運転できるから」が 74.0%と最も多い。
- 問 8：公共交通への利用協力意向は、「環境対策・交通安全対策・健康増進対策」の全ての項目で過半数が協力できると「思う」と回答している。しかし、自家用車中心の生活から公共交通中心への生活には、「たまにならできると思う」との回答は 12.6%で、「将来、年をとったらできると思う」が 53.2%となり、現状の協力は難しい。
- 将来の転換年齢は、「70～74 歳」が 22.5%、「80～84 歳」が 20.5%となった。70 歳を超えると、自動車の運転を控えようとする意識が芽生えるが、「わからない」との回答も 15.9%見られるなど、80 歳を超えても元気なうちは、便利な車を手放せない可能性が高い。

Ⅱ 調査結果

問1. アンケート対象の属性

(1) 性別

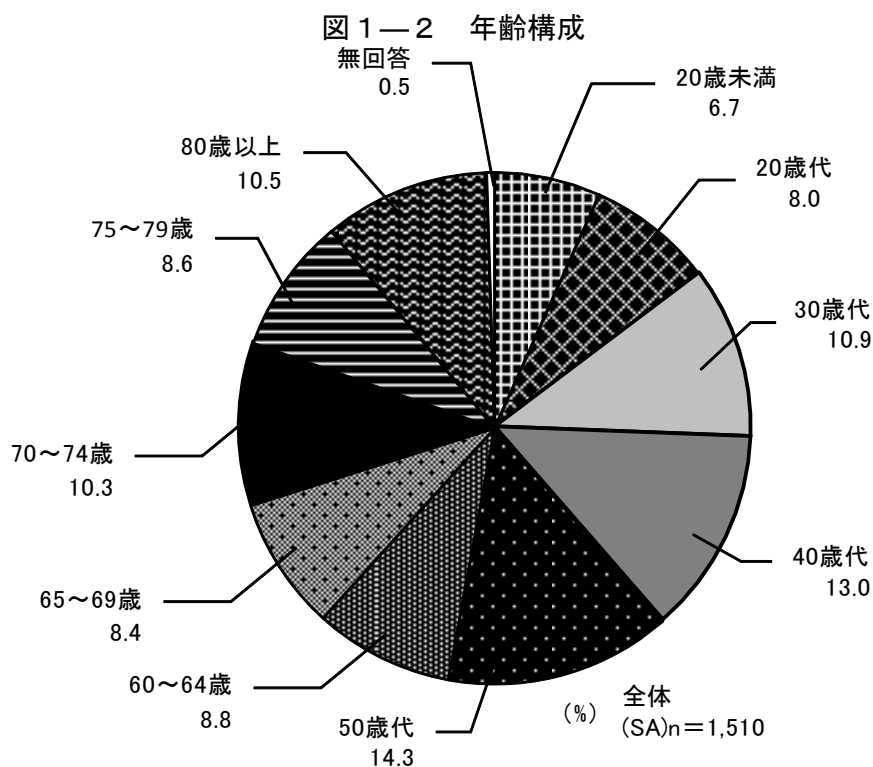
○ 「男性」が41.2%、「女性」が57.2%で、若干女性が多い。



(2) 年齢構成

○ 年齢構成が極端に偏りの無いように配布した。

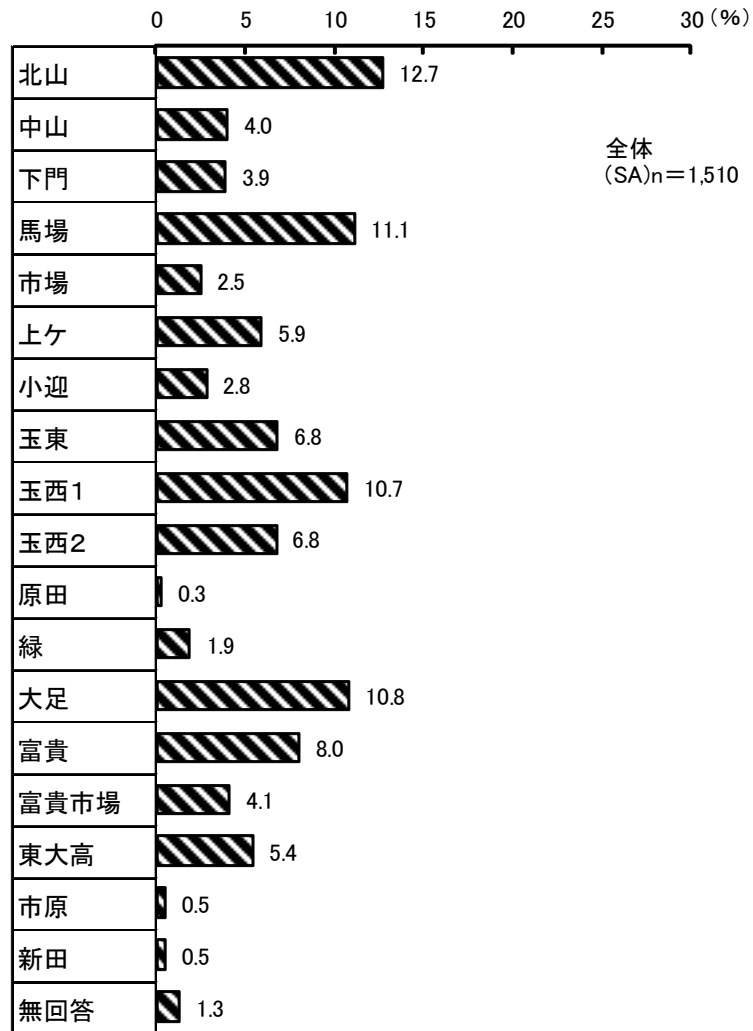
「20歳代」が8.0%、「30歳代」が10.9%とやや少なく、「60歳代」が17.2%、「70歳代」が18.9%となっており、公共交通の利用を意識する世代の回答割合が少し多い状況となっている。



(3) 居住地

○ 「北山」(12.7%)、「馬場」(11.1%)、「大足」(10.8%)、「玉西1」(10.7%)地区の割合が少し高い。

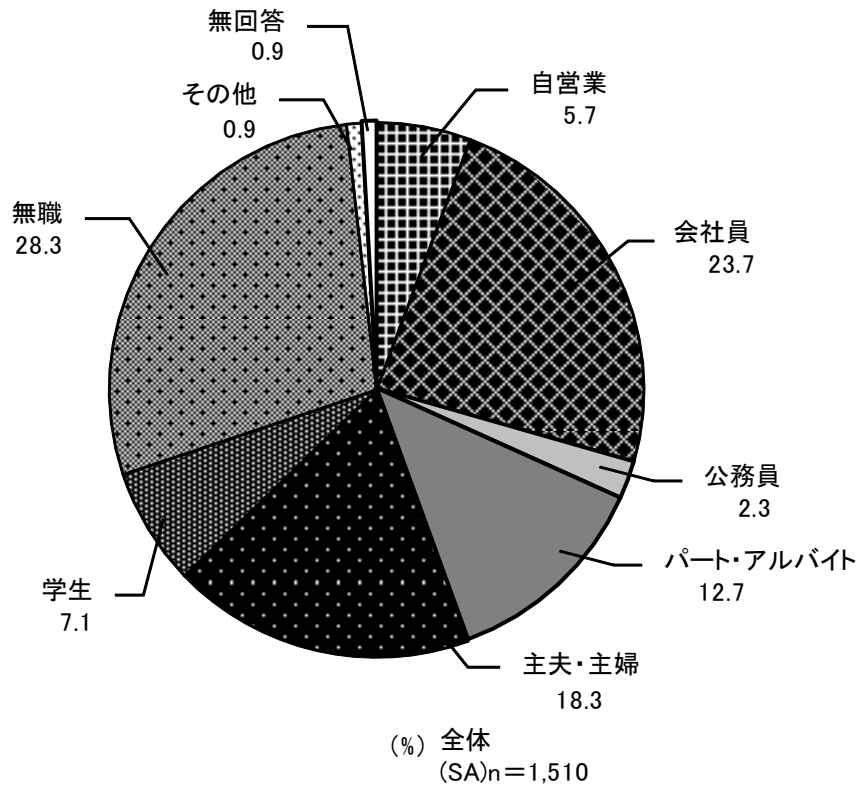
図1—3 居住地



(4) 職業

○ 「無職」が28.3%と最も多く、次いで、「会社員」が23.7%、「主夫・主婦」が18.3%、「パート・アルバイト」が12.7%、「学生・生徒」が7.1%となっています。
70歳以上の年齢構成が全体の3割を占めることから「無職」の割合が高くなっています。

図1-4 職業



(5) 自動車免許・自動車の所有状況

- 「自動車免許を持っていない」割合は、23.0%でした。
- 「自家用車を持っていない」割合は17.5%でした。
20歳未満の学生や高齢者等であり、回答者の2割が自家用車を運転しないサンプルとなっています。

図1—5 自動車免許の所有状況

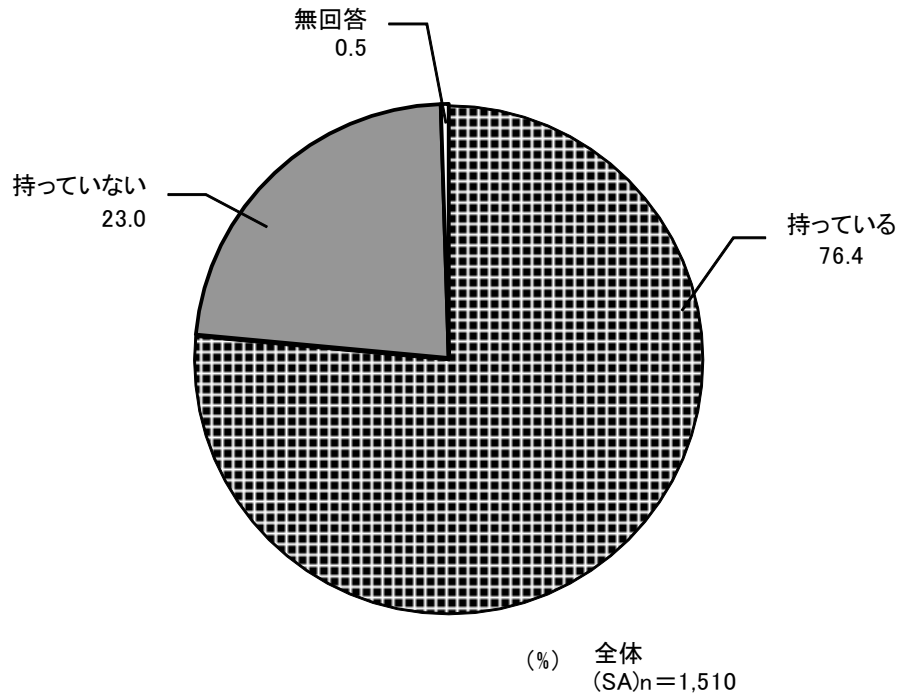
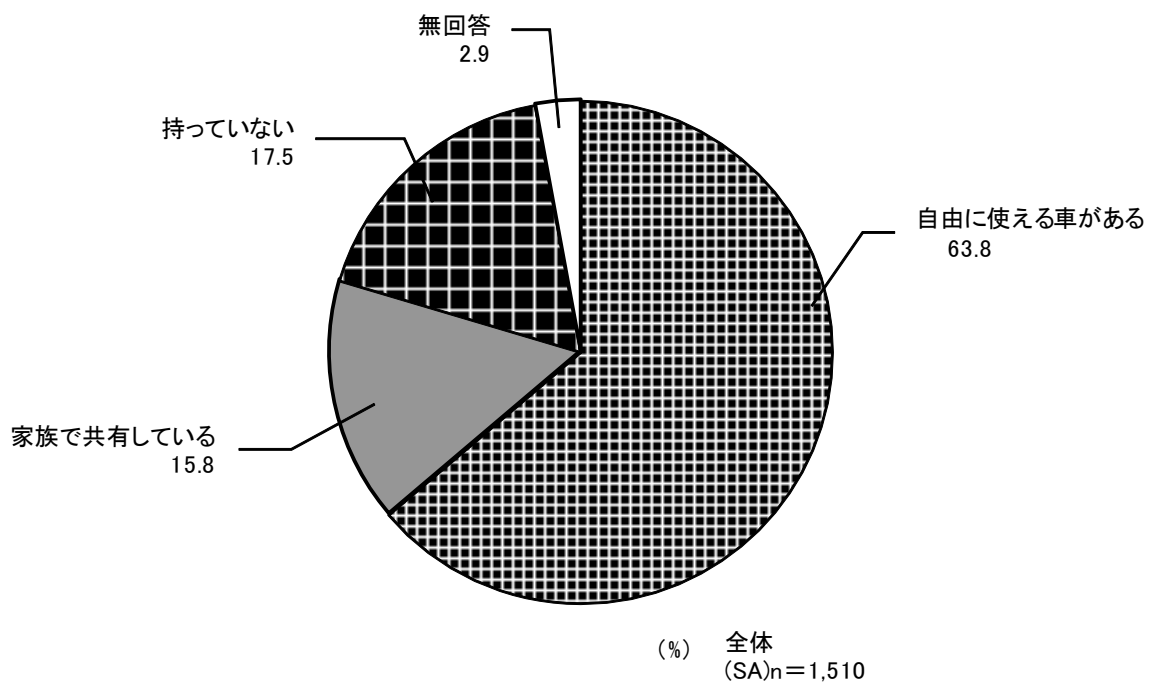


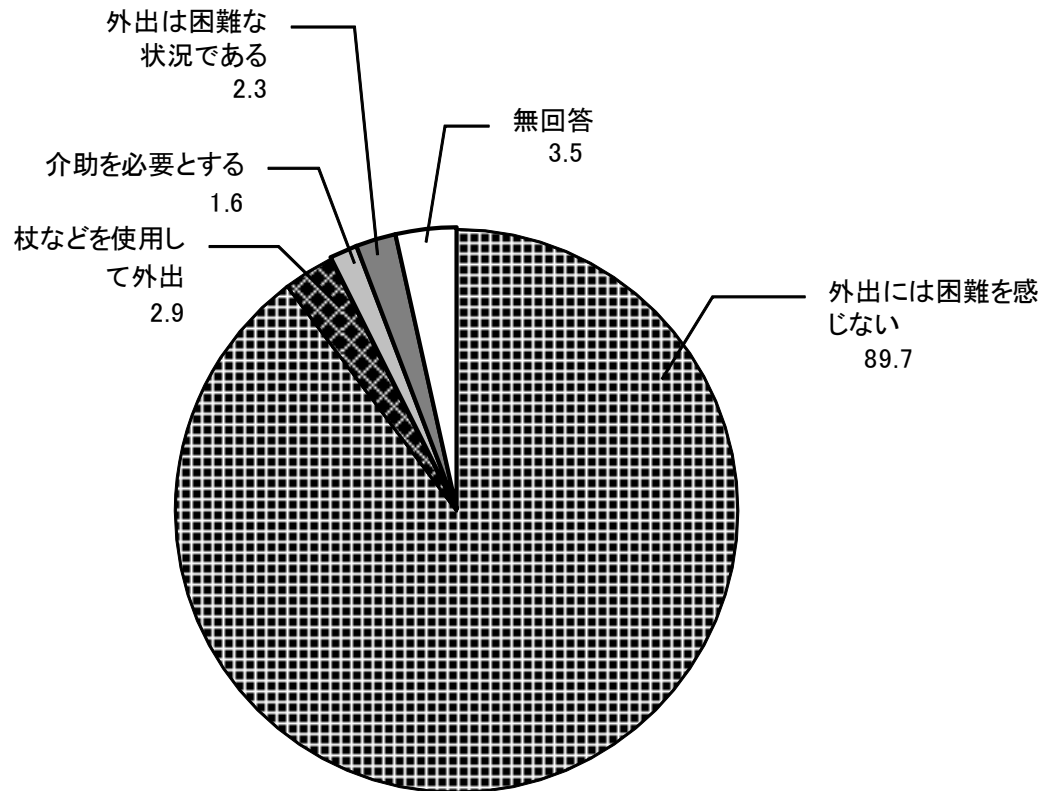
図1—6 自動車の所有状況



(6) 外出が困難な人の割合

○ 外出について困難な状況にあるか確認しました。
「外出には困難を感じない」との回答割合は 89.7%で、「介助を必要とする・困難な状況にある」サンプルは 3.9%でした。

図 1—7 外出が困難な人の割合



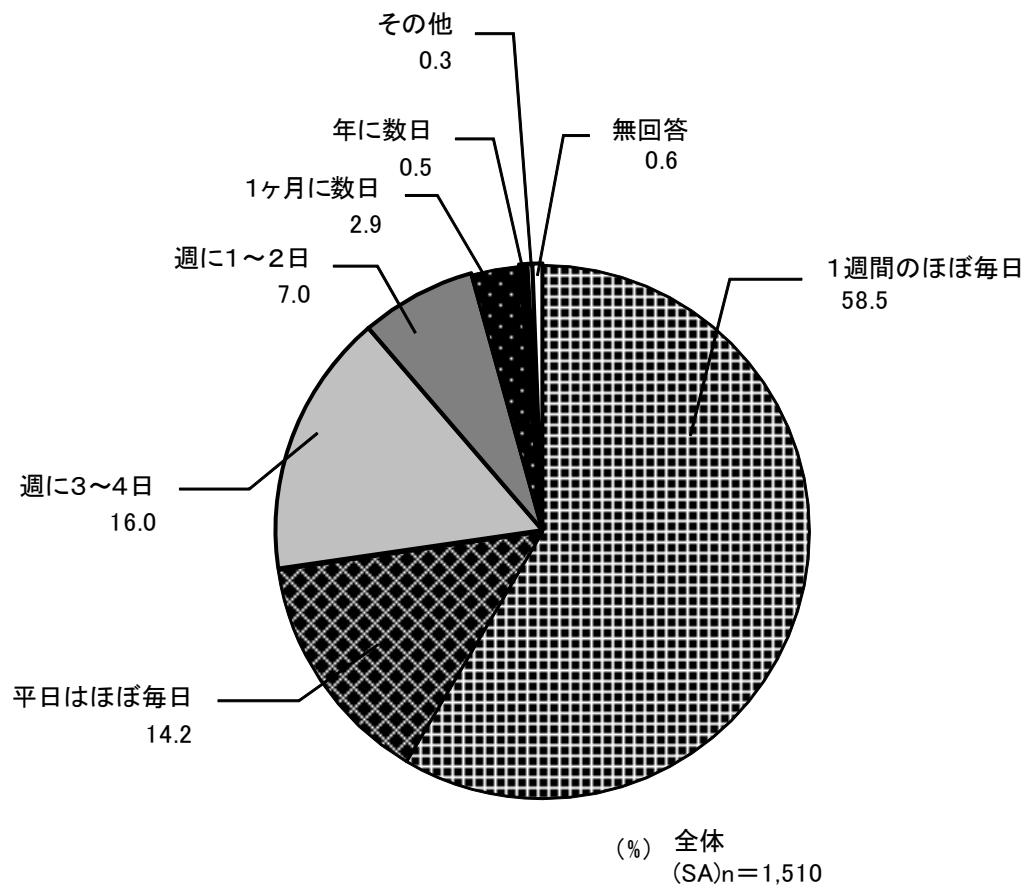
(%) 全体
(SA)n=1,510

問2. 外出の頻度や目的

(1) 外出頻度

- 外出頻度を確認すると、「1週間のほぼ毎日」が58.5%と過半数を占める。
1週間に1日以上外出者は、全体の95.7%に相当する。

図2—1 外出頻度

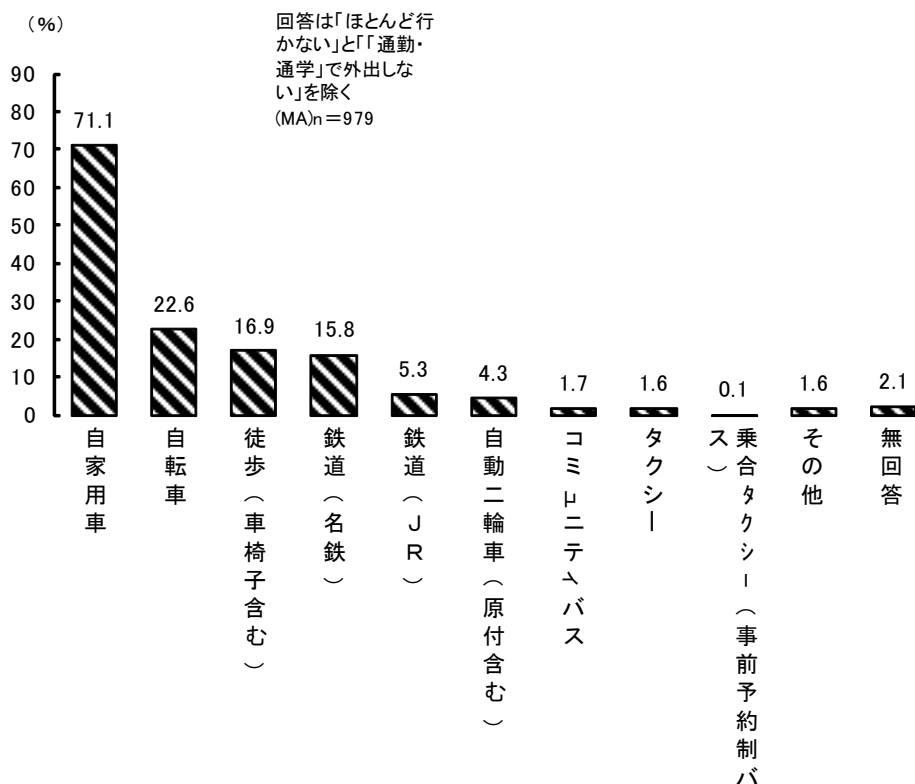
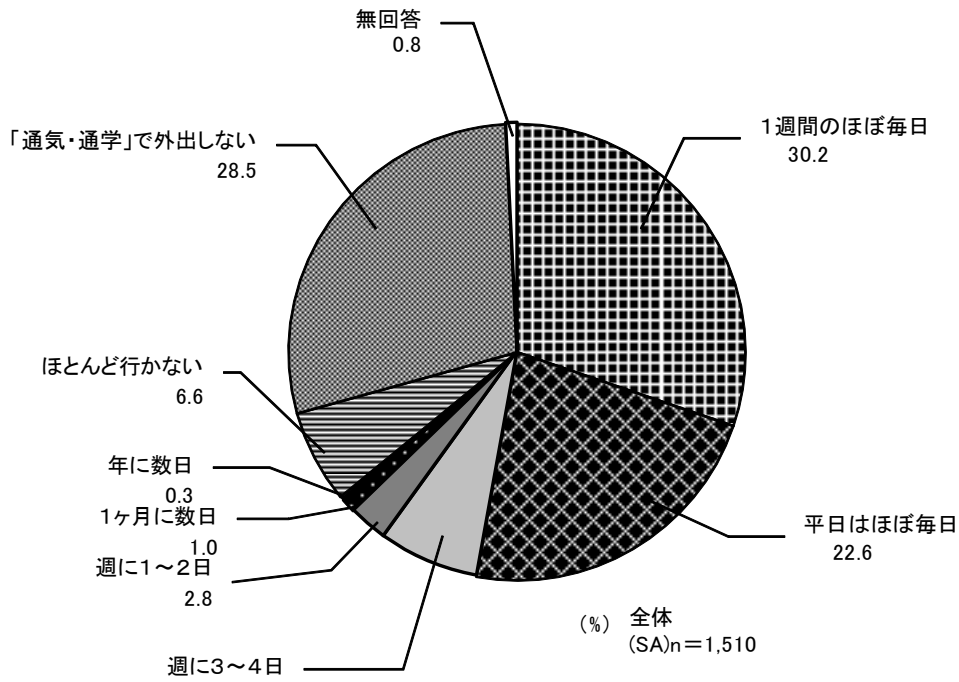


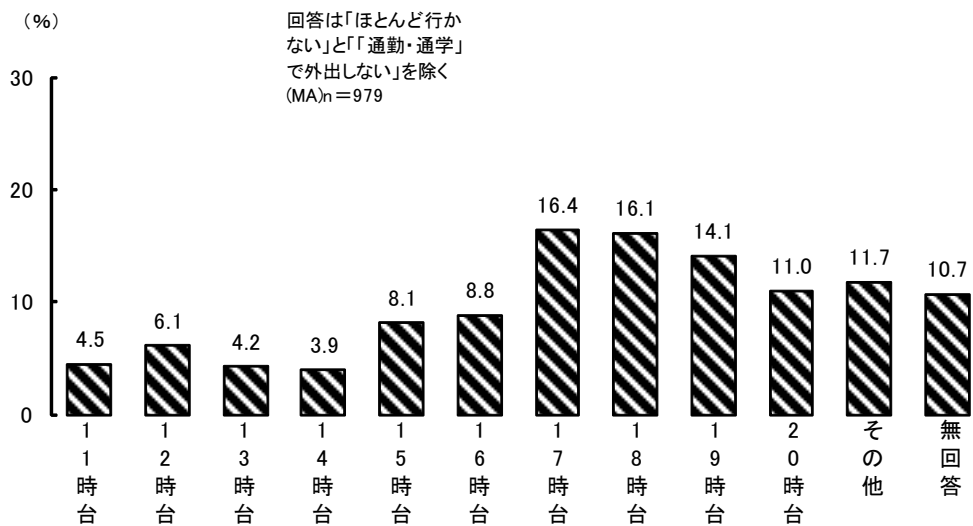
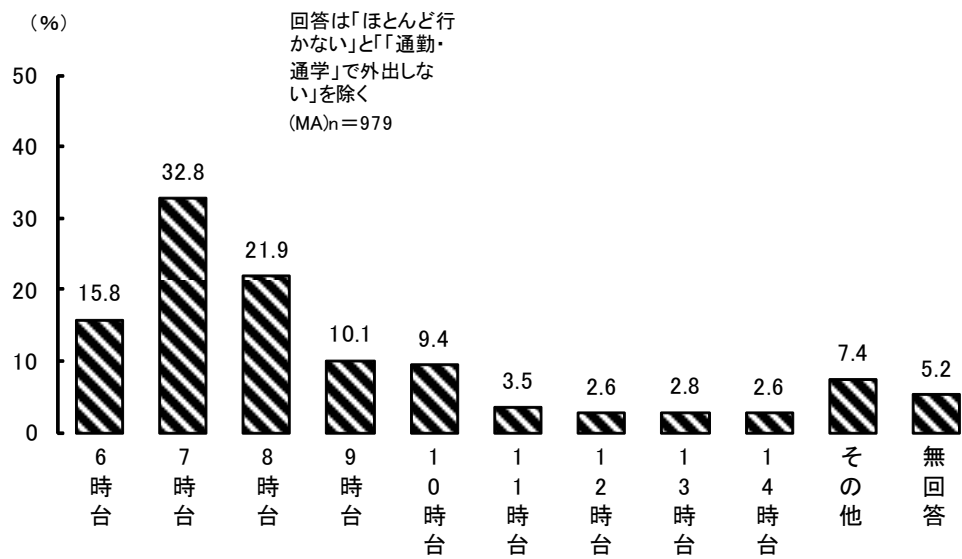
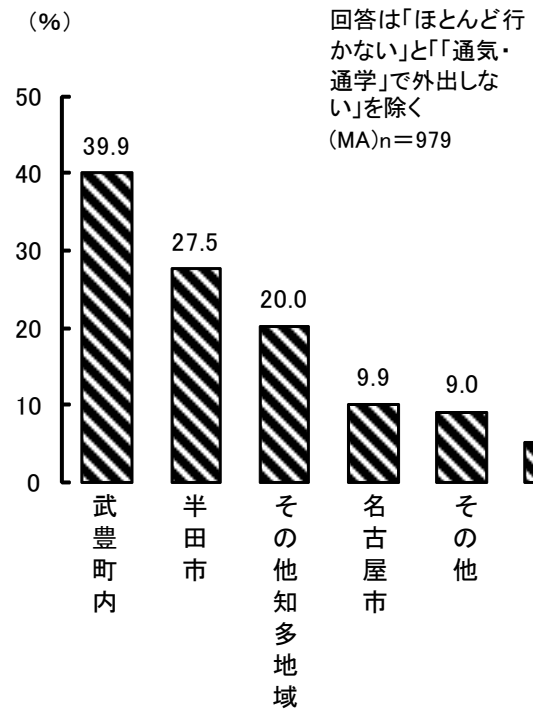
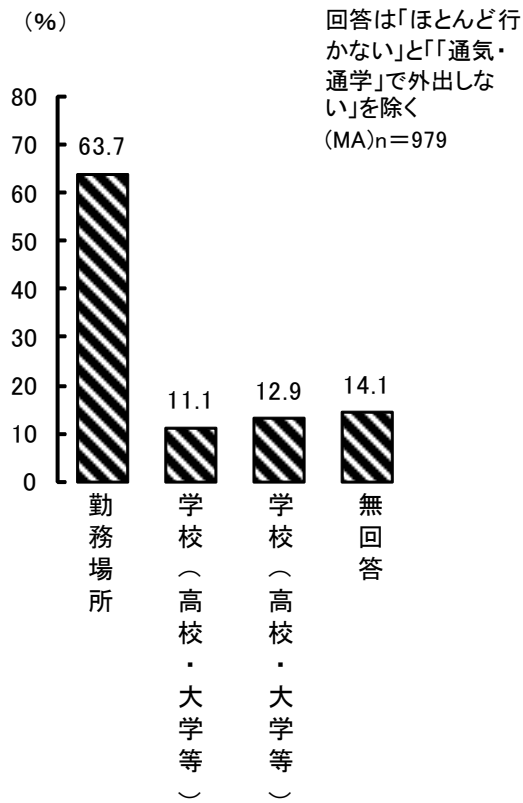
(2) 外出行動実態

①通勤・通学の行動実態

- 外出頻度：「ほぼ毎日」の割合が 52.8%
- 交通手段：「自家用車」が 71.1%、「自転車」が 22.6%で、「コミュニティバス」は 1.7%。
- 目的地：「武豊町内」が 39.9%で、「半田市」27.5%。町外流出が約 6 割。
- 出発時間帯：「7 時台」が 32.8%と最も多い。
- 帰宅時間帯：「17 時台」が 16.4%、「18 時台」が 16.1%。

図 2—2 通勤・通学の外出行動実態

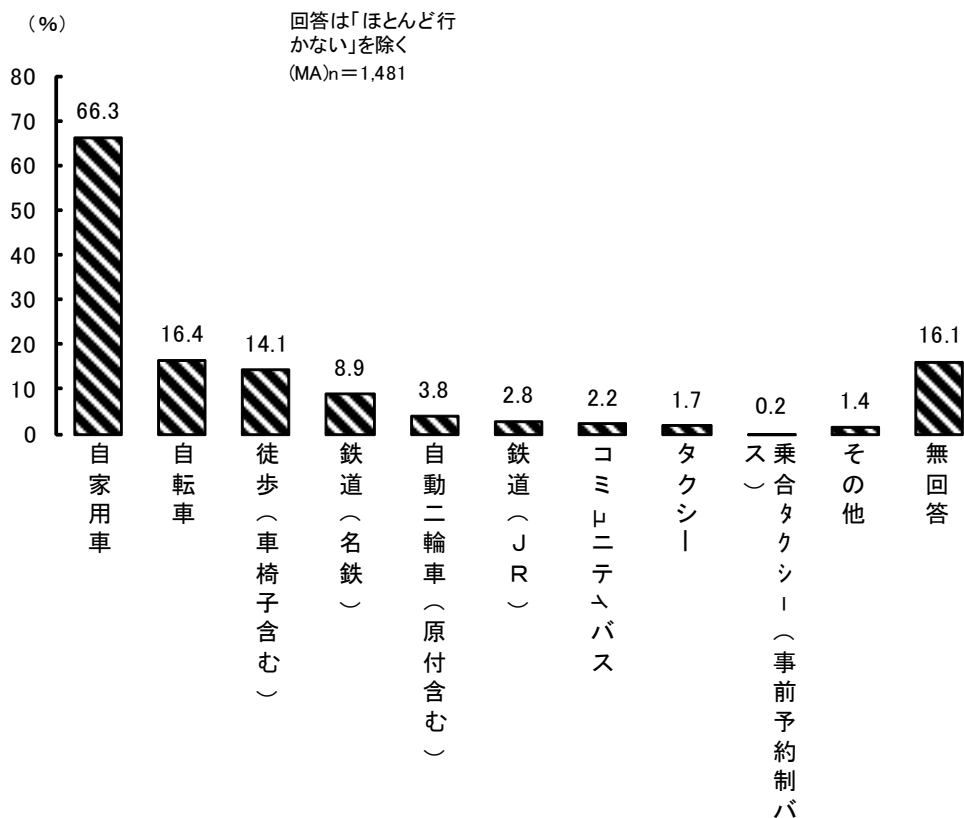
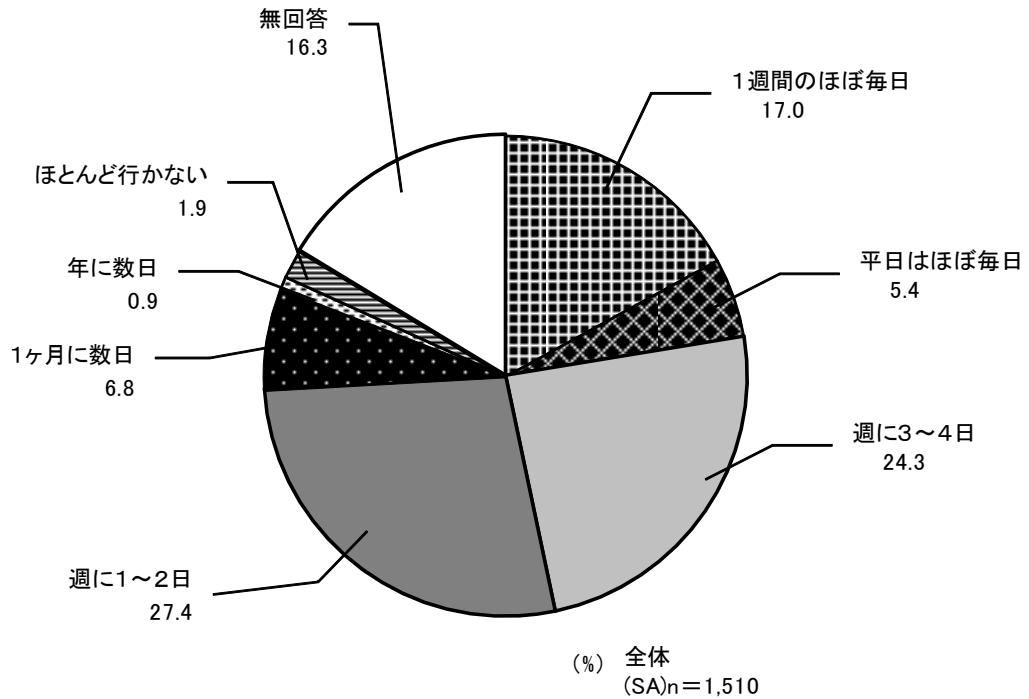


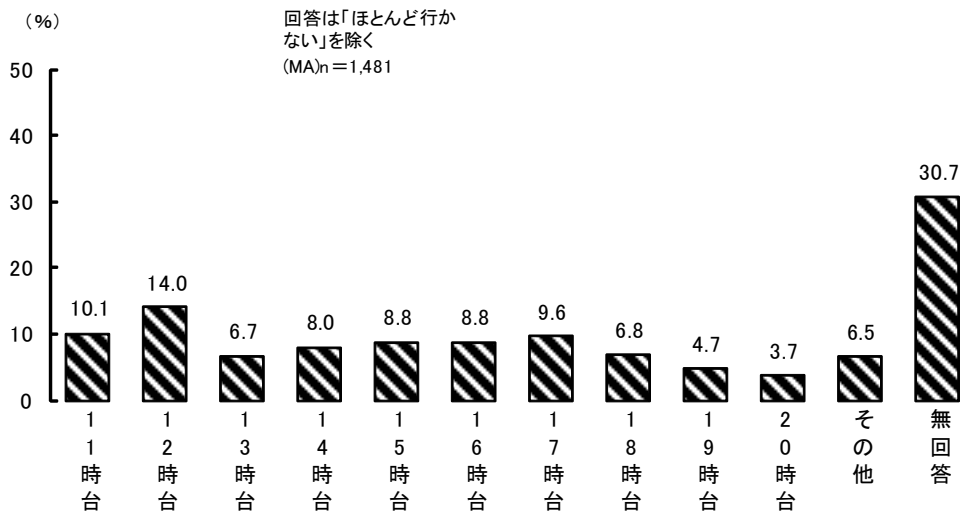
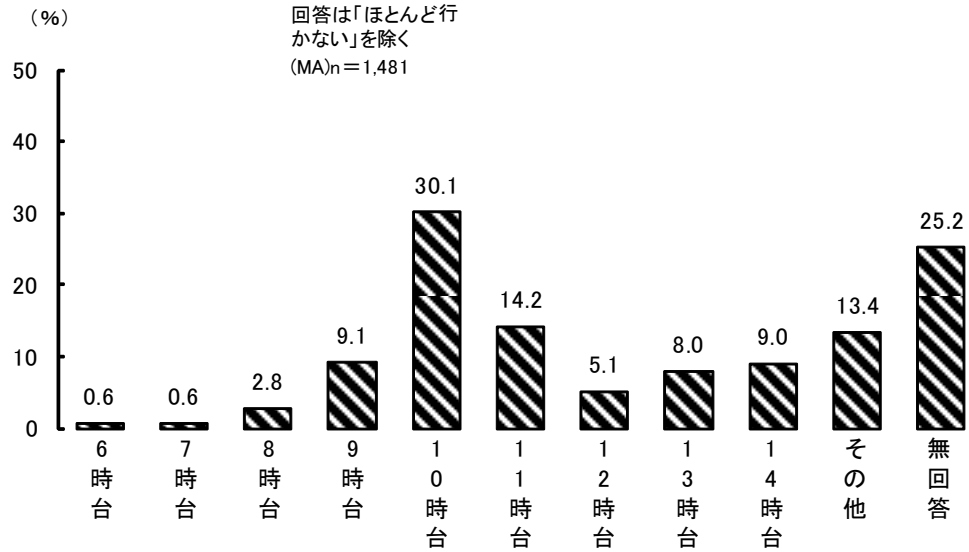
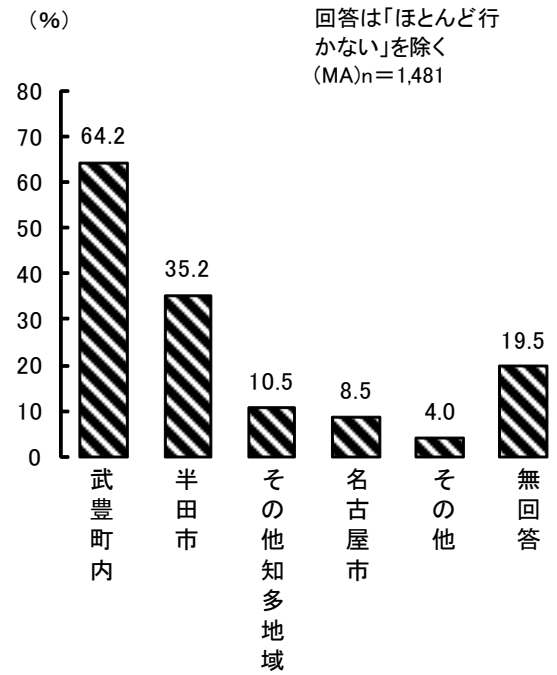
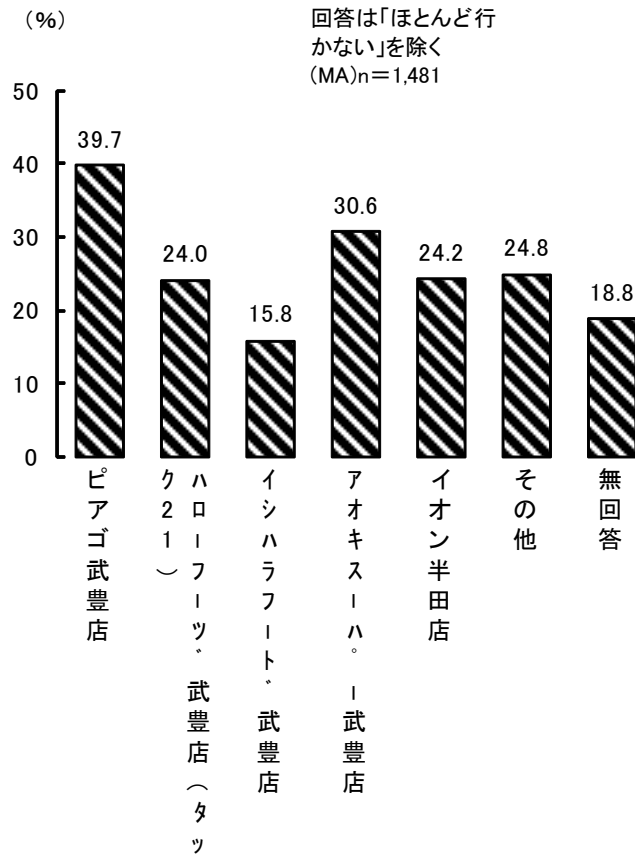


②買い物等の行動実態

- 外出頻度：「週に1～2日」が27.4%、「週に3～4日」が24.3%。
- 交通手段：「自家用車」が66.3%、「自転車」が16.4%で、「コミュニティバス」は2.2%。
- 買物場所：「ピアゴ武豊店」が39.7%、「アオキスーパー武豊店」が30.6%。
- 目的地：「武豊町内」が64.2%で、「半田市」35.2%。町外流出が約4割。
- 出発時間帯：「10時台」が30.1%と最も多い。
- 帰宅時間帯：「12時台」が14.0%、「11時台」が10.1%。午前中の移動が多い。

図2-3 買い物等の外出行動実態

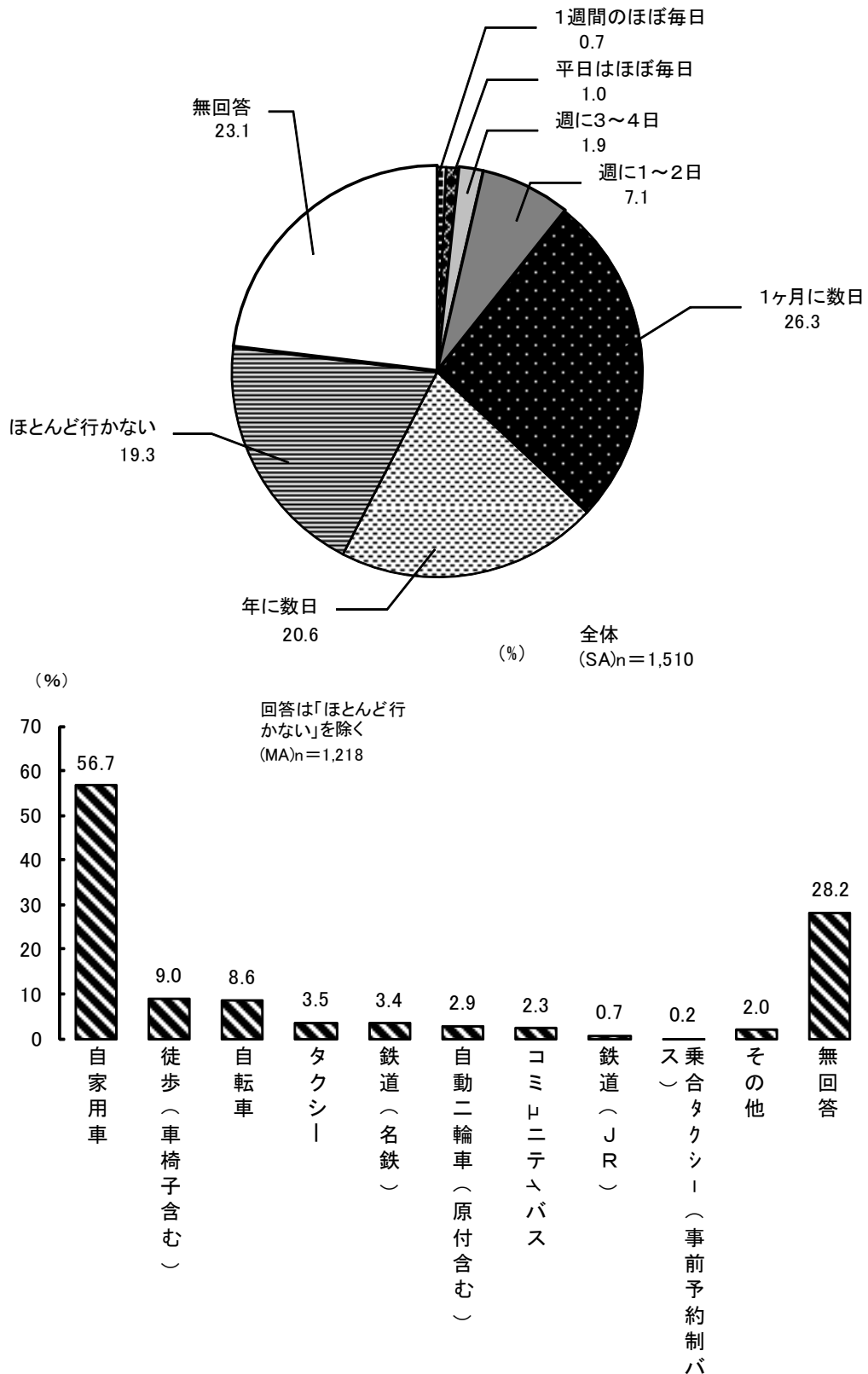


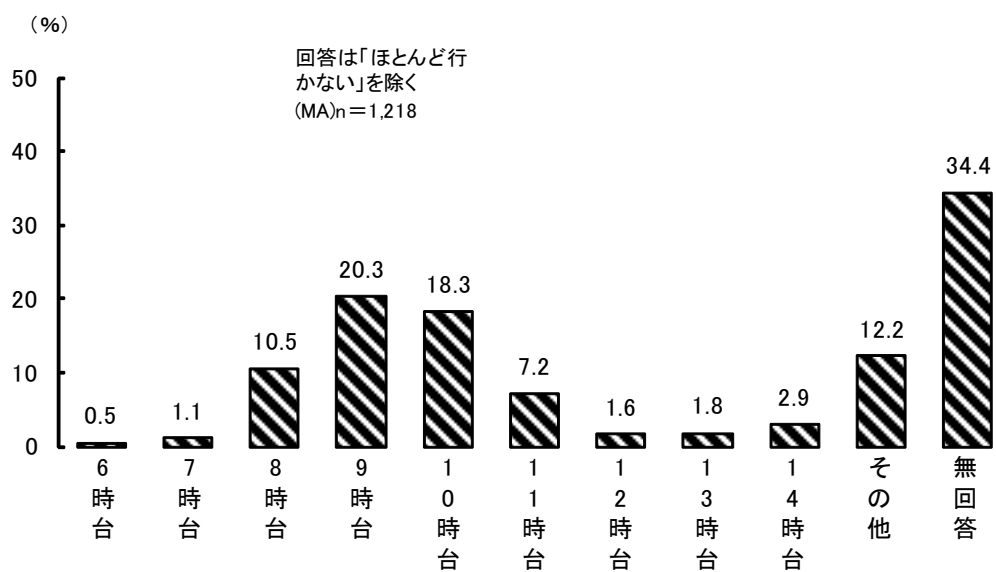
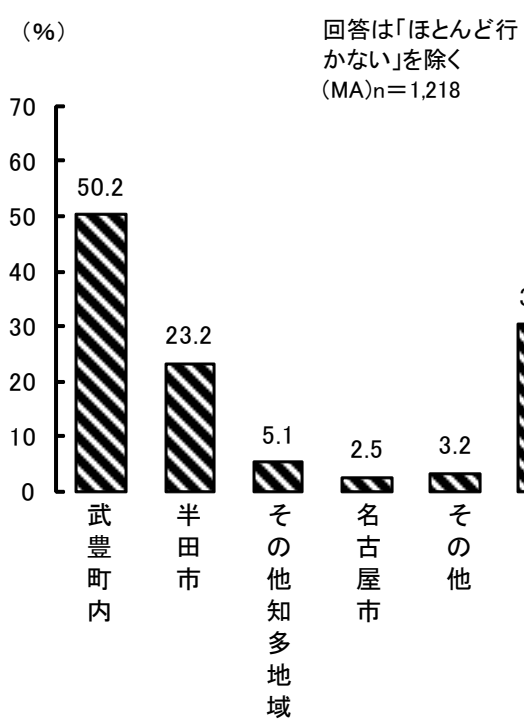
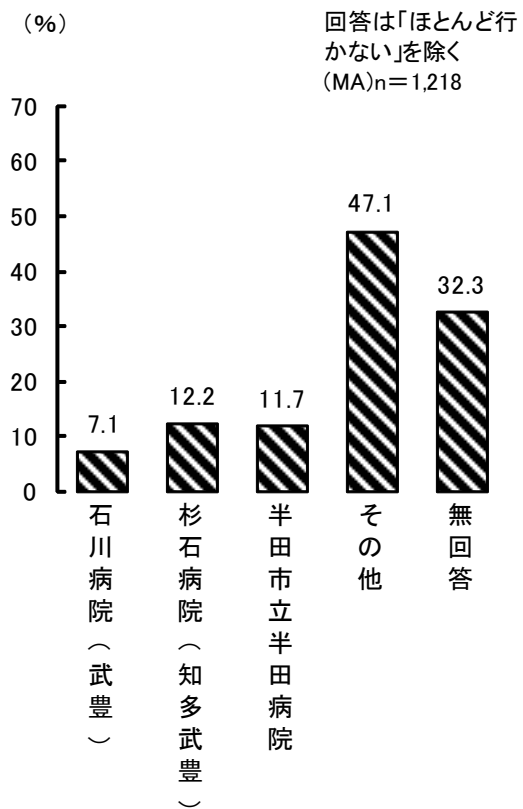


③病院等の行動実態

- 外出頻度：「1カ月に数日」が26.3%、「年に数日」が20.6%。
- 交通手段：「自家用車」が56.7%、「徒歩」が9.0%で、「コミュニティバス」は2.3%。
- 病院施設：「杉石病院」が12.2%、「半田病院」が11.7%。
- 目的地：「武豊町内」が50.2%で、「半田市」23.2%。町外流出が約5割。
- 出発時間帯：「9時台」が20.3%と最も多く、次いで「10時台」が18.3%。
- 帰宅時間帯：「11時台」が16.4%、「12時台」が16.3%。午前中の移動が多い。

図2-4 病院等の外出行動実態



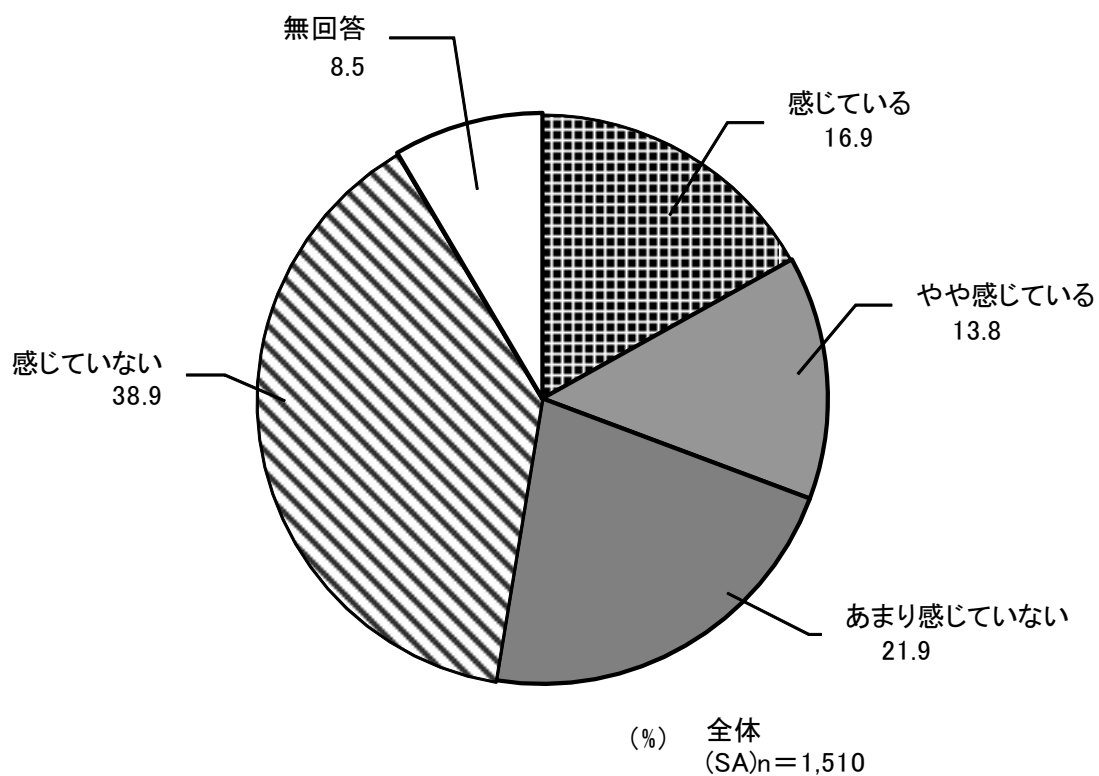


問3. 公共交通での移動について不便を感じているか

(1) 不便を感じているか

○ 日常の公共交通での移動に「不便」を感じているか確認すると、「感じている」16.9%、「やや感じている」13.8%となり、感じている人は全体の3割を超える。

図3-1 不便を感じているか



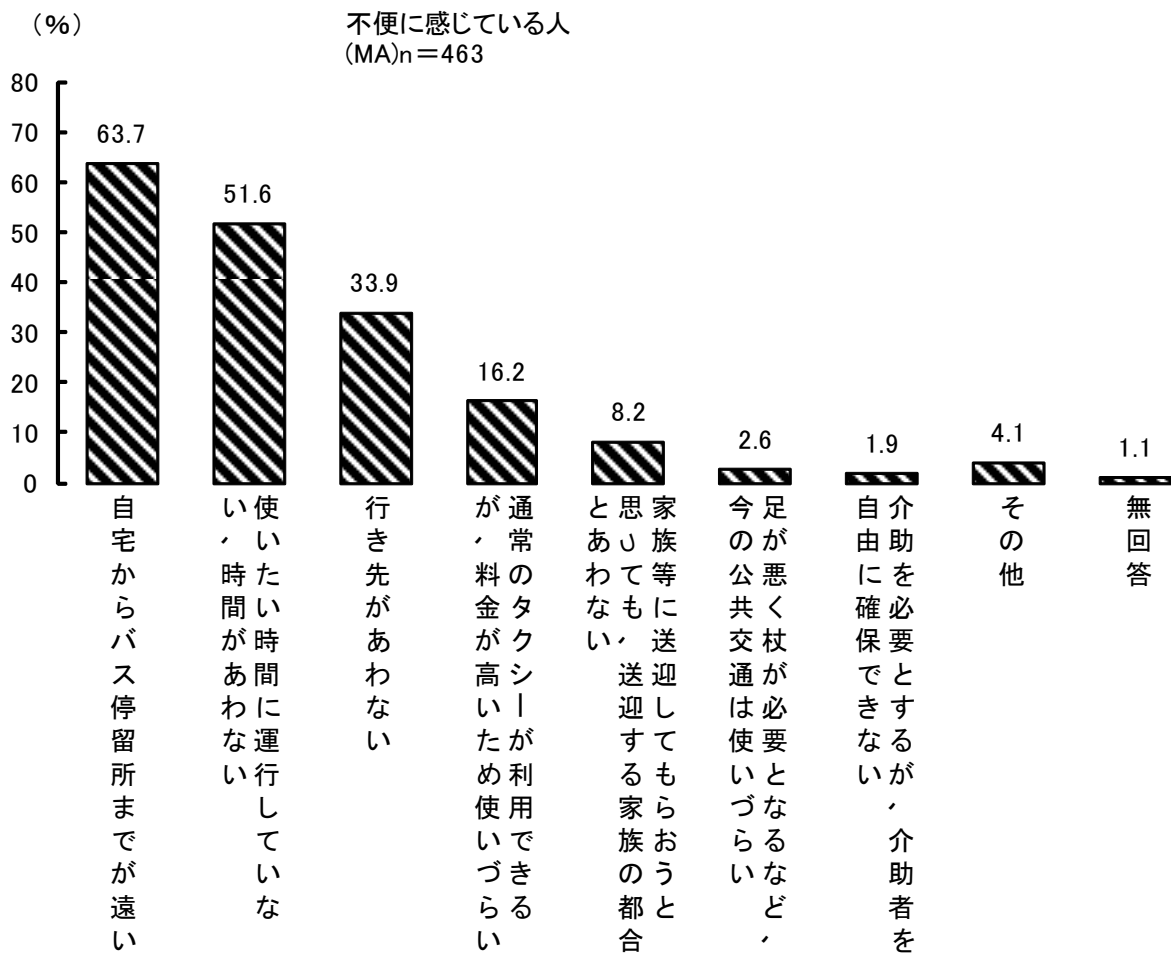
(2) 不便と感じる理由

○ 不便と感じる理由は「自宅からバス停留所までが遠い」が 63.7%で、次いで、「使いたい時間に運行していない、時間があわない」が 51.6%となり、これらは不便と感じる人の過半数が選択している。

バス停留所から 300m 圏域で市街化区域をカバーする面積割合が 85.1%で、計画的な停留所配置をしているにも関わらず、「バス停留所まで遠い」と回答された。

加えて、現状の 2 台体制で運行できる便数を確保しても「使いたい時間に運行していない」と回答された。新たな車両（税）投入しなければ、これら要請については対応できない。

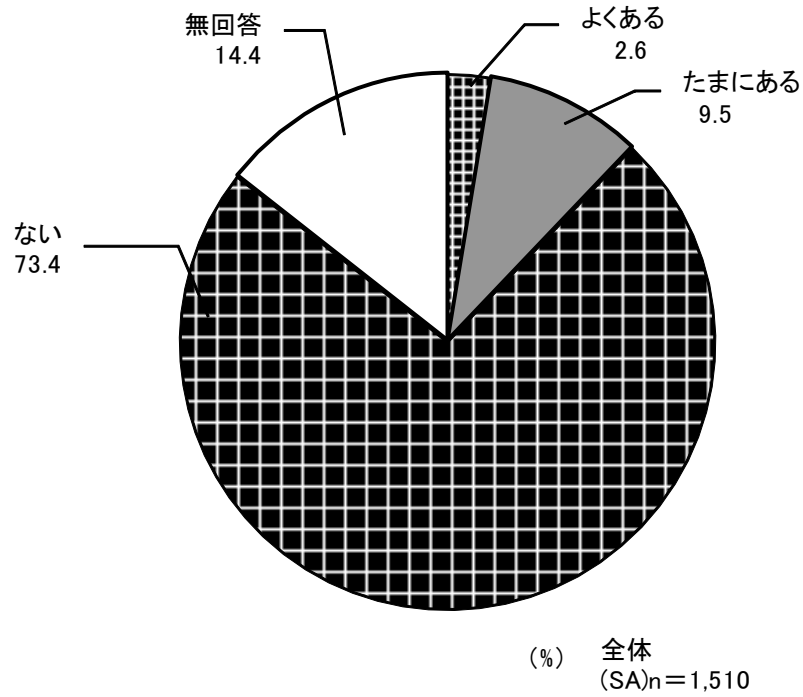
図 3-2 不便と感じる理由



(3) 外出を控えたことがあるか

○ 公共交通がない・利用しづらいために、外出を控えたことがあるかを確認すると、「よくある」2.6%、「たまにある」9.5%あり、約1割の住民が外出を控えたことがあると回答している。

図3-3 外出を控えた状況の有無

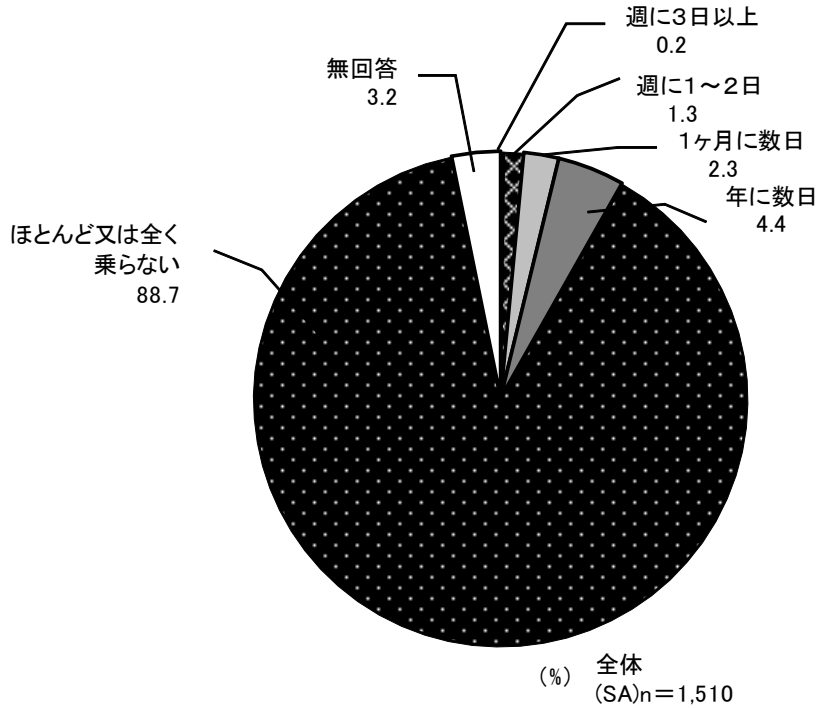


問4. コミュニティバス等の利用実態について

(1) コミュニティバスの利用状況

○ 「ほとんど又は全く乗らない」との回答が88.7%となり、利用者は8.2%で、1割にも満たない。1カ月に数日以上利用する、定期的な利用者は3.8%にとどまる。

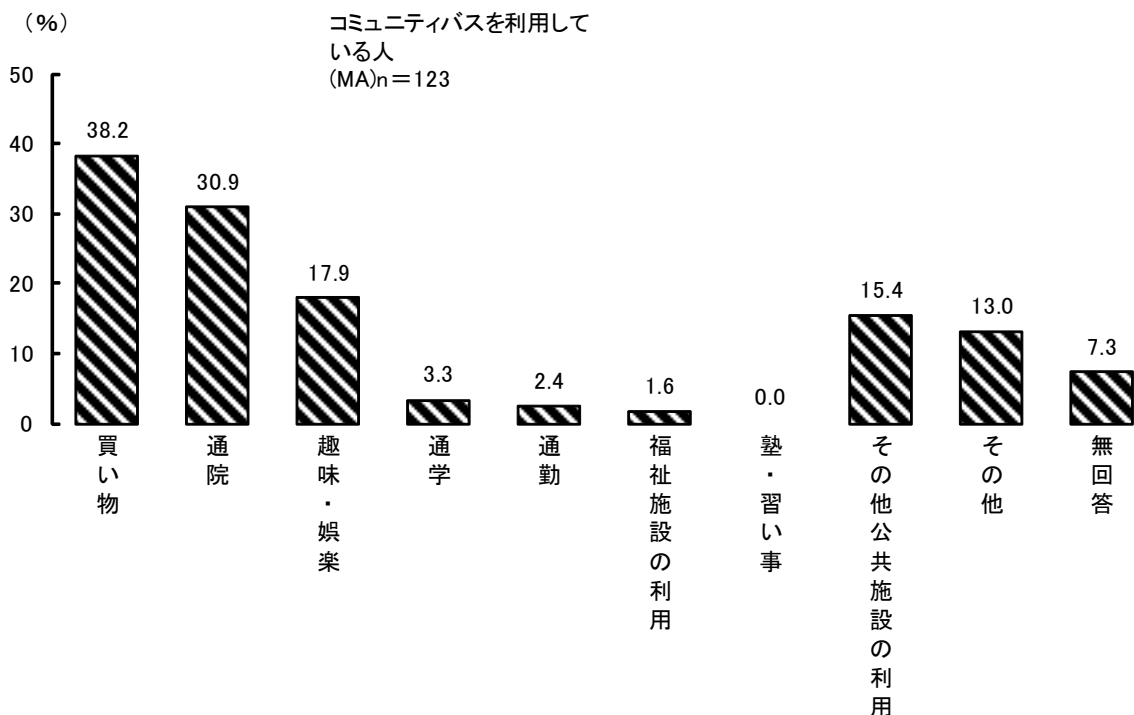
図4-1 コミュニティバスの利用状況



(2) コミュニティバス利用者の利用目的

○ 利用者の利用目的は、「買い物」が38.2%、「通院」が30.9%と多く、「趣味・娯楽」が17.9%、「その他公共施設の利用」が15.4%となっている。ほぼ毎日利用する「通勤」「通学」は全体の5.7%だった。

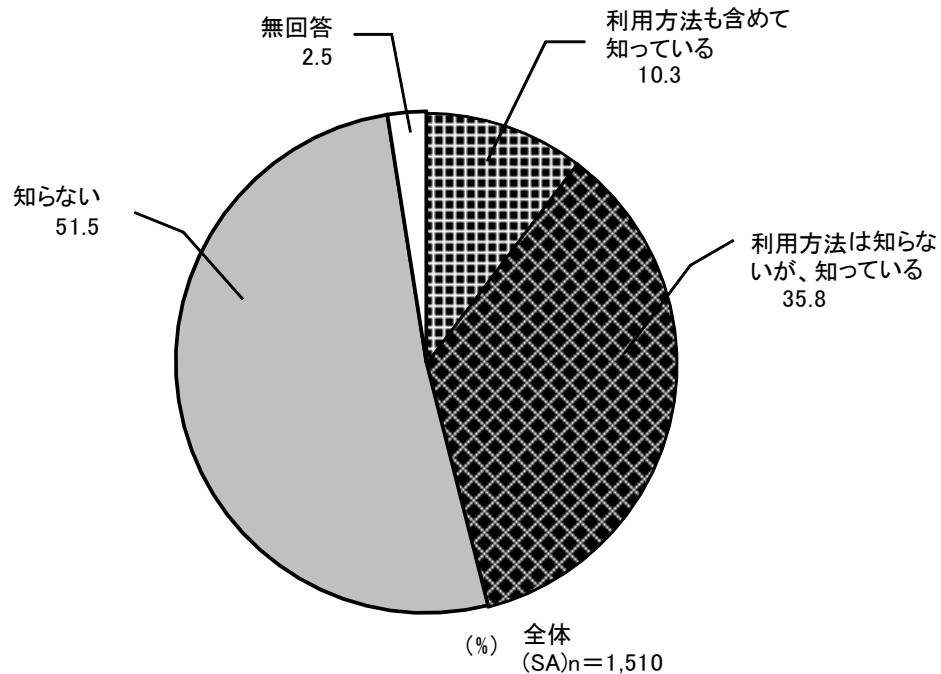
図4-2 コミュニティバスの利用目的



(3) 乗合タクシー（事前予約制バス）の認知度

○ 「利用方法を含めて知っている」との回答は全体の 10.3%であり、「知らない」との回答が 51.5%、過半数を超えた。まだ認知はされていない。

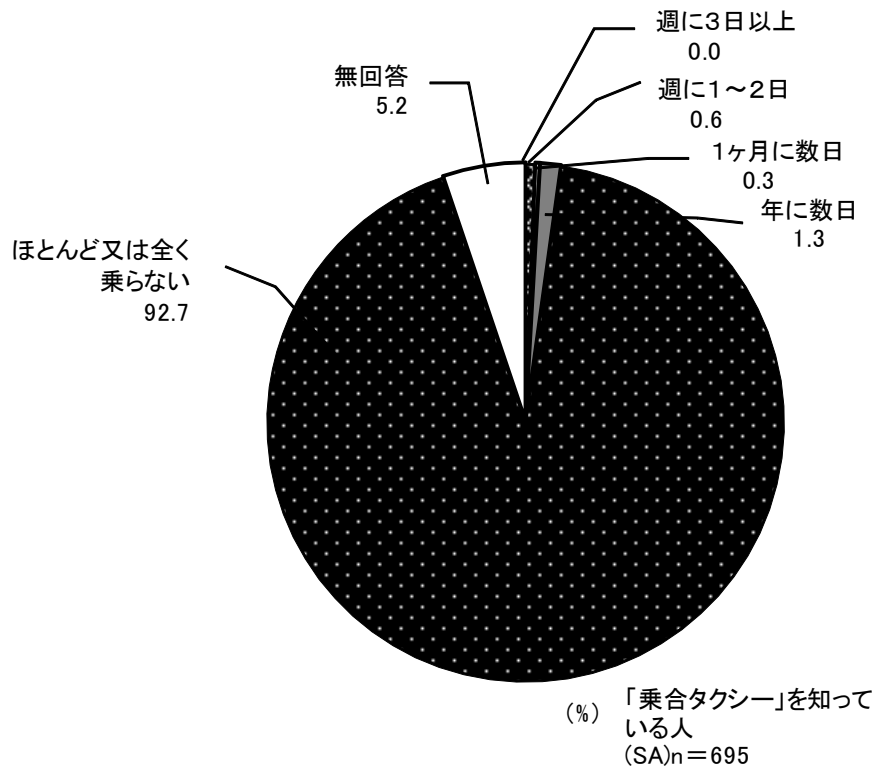
図 4-3 乗合タクシーの認知度



(4) 乗合タクシー（事前予約制バス）の利用状況

○ 乗合タクシーの存在を知っている人の利用頻度を確認すると、「ほとんど又は全く乗らない」との回答が 92.7%となり、「1カ月に数日」以上の利用者は、0.9%となった。

図 4-4 乗合タクシーの利用状況

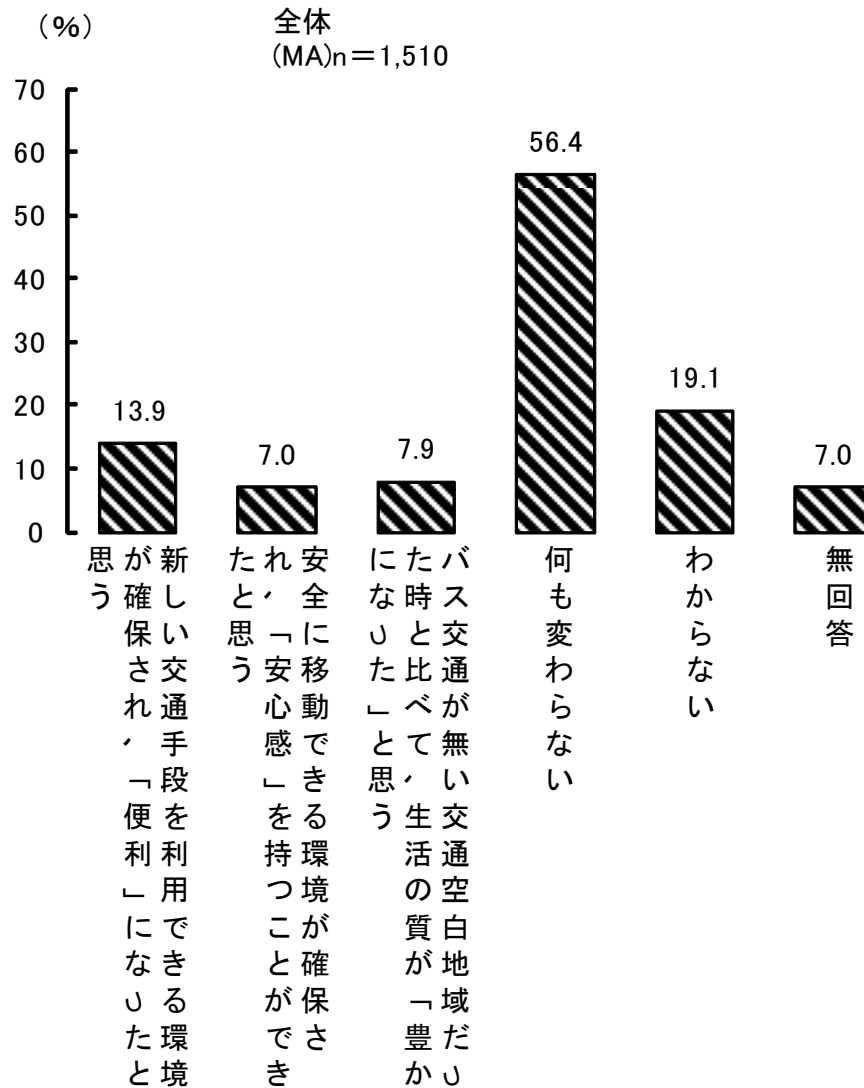


問5. コミュニティバス等の事業実施効果について

(1) 生活環境に与えた変化

- コミュニティバスや乗合タクシーの運行により、生活環境に与えた変化を確認すると、「何も変わらない」との回答が56.4%となった。
- 「便利になった(13.9%)」、「豊かになった(7.9%)」、「安心感を持てた(7.0%)」との回答が全体で半数に満たず、コミュニティバス等の事業実施が、住民の半数の生活環境に影響を与えていない厳しい結果が示された。

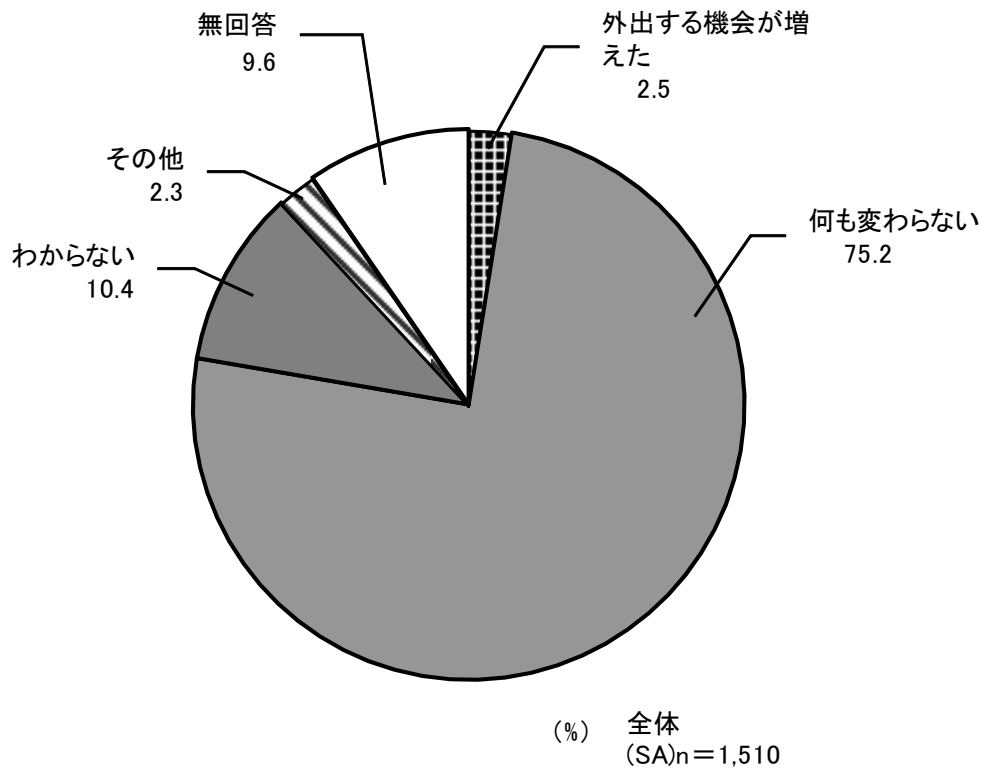
図5-1 生活環境に与えた変化



(2) 外出機会の変化からみた影響

- コミュニティバスや乗合タクシーの運行をきっかけに、「外出機会が増えたか」どうかを確認すると、「外出する機会が増えた」との回答は全体の 2.5%となり、「何も変わらない」が 75.2%と多数を占めた。
- コミュニティバス等の利用者が 1 割にも満たない状況にあり、現時点では、コミュニティバス等の事業は、住民の外出行動に対する効果は示されなかった。

図 5-2 外出機会の変化からみた影響

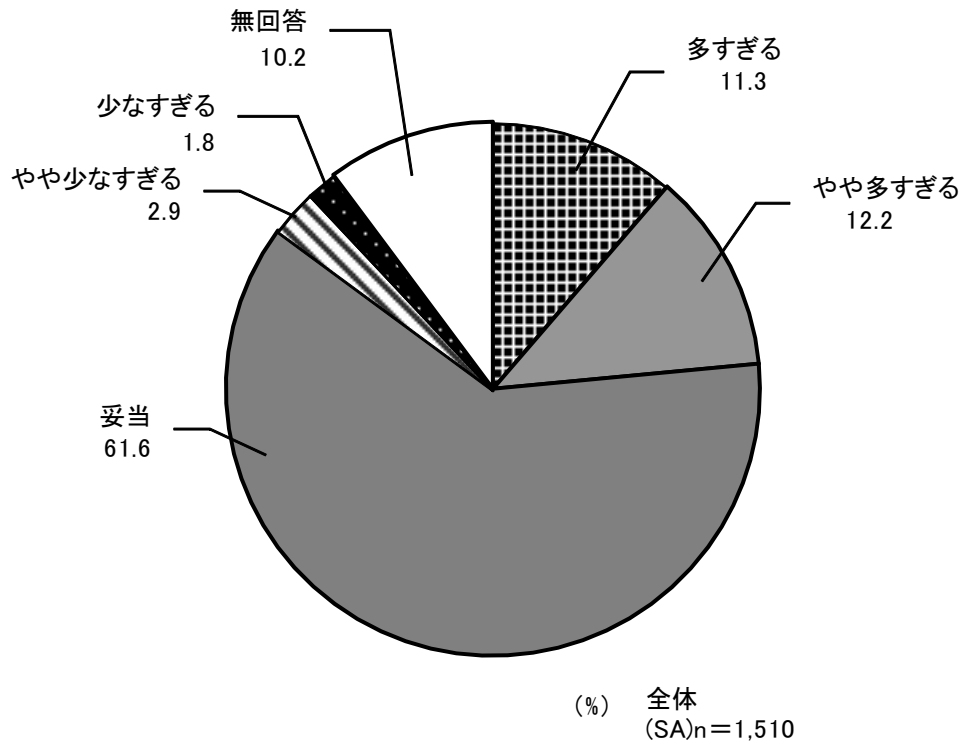


問6. 税投入・サービス水準に対する評価について

(1) 税負担に対する評価について

○ コミュニティバス等を維持するために、1世帯当たり年間約1350円の負担について確認すると、「妥当」が61.6%で、「多すぎる・やや多すぎる」は23.5%、「やや少なすぎる・少なすぎる」が4.7%ととなり、概ね住民の理解が得られていると評価できる結果となった。

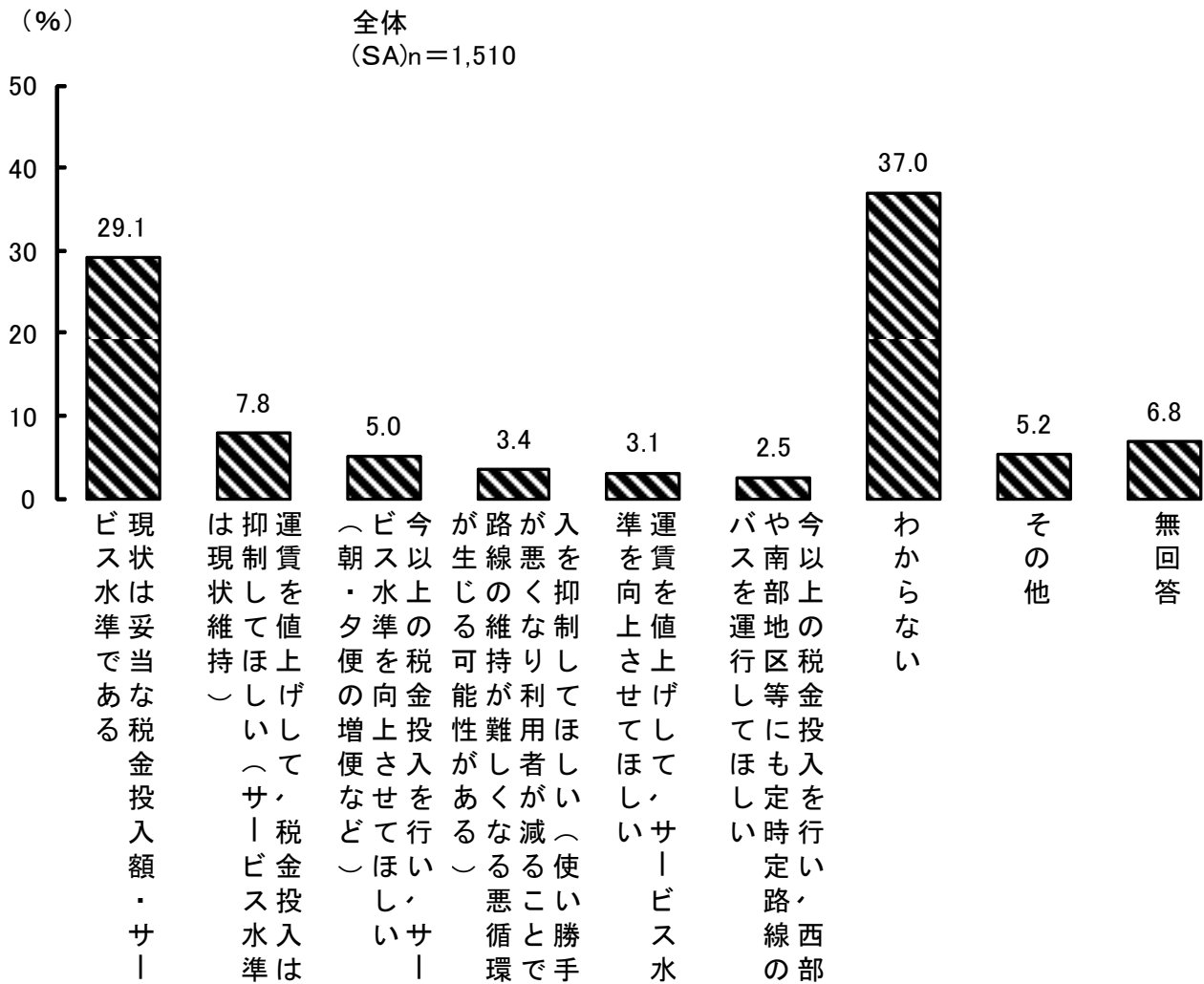
図6-1 税負担に対する評価



(2) 税負担と公共交通サービスの水準のあり方について

- 税負担と公共交通サービスの水準のあり方について確認すると「わからない」が37.0%と最も多く、どのように判断して良いのかわからない回答が多かった。
- 何らかの意思表示をした回答をみると、「現状は妥当な税金投入額・サービス水準である」との回答が29.1%となった。
- 「現状の税負担・サービス水準」のままであれば、多くの住民からは特に問題があるとは指摘されない状況にある。

図6-2 税負担と公共交通サービスの水準について

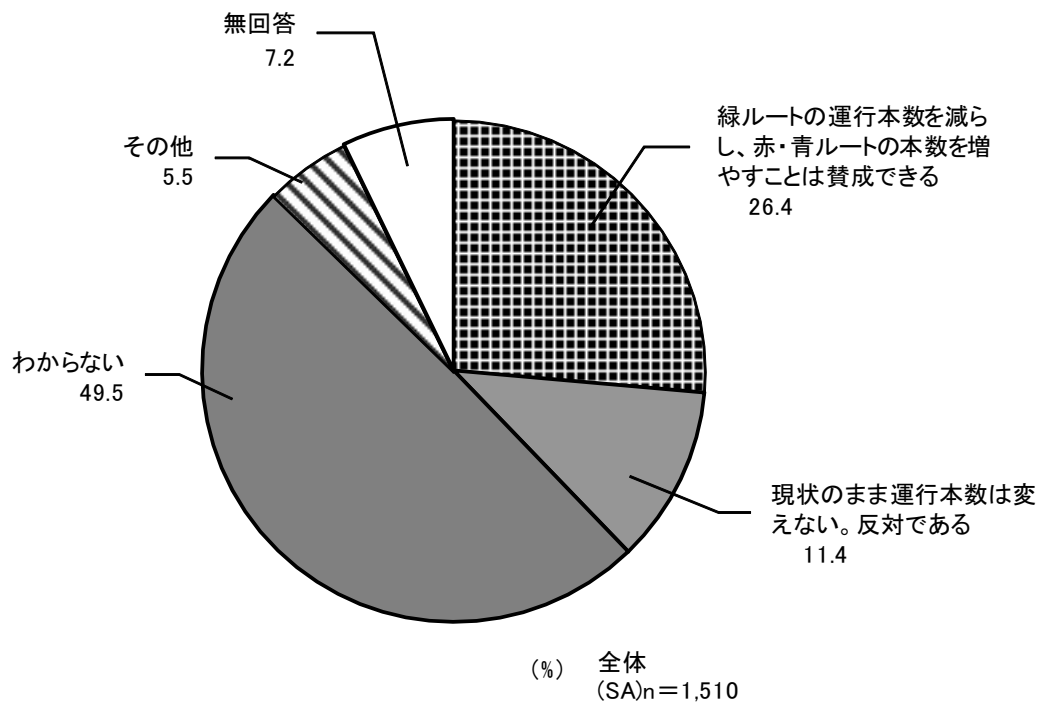


(3) コミュニティバス等の事業改善に対する意向

①運行本数の変更について

- コミュニティバスの4つのルート¹の運行本数の変更について確認すると、「わからない」との回答が49.5%となった。
- 「緑ルートの運行本数を減らし、赤・青ルートの増便」は26.4%が賛同し、「現状のまま本数は変えない」との回答11.4%を上回った。

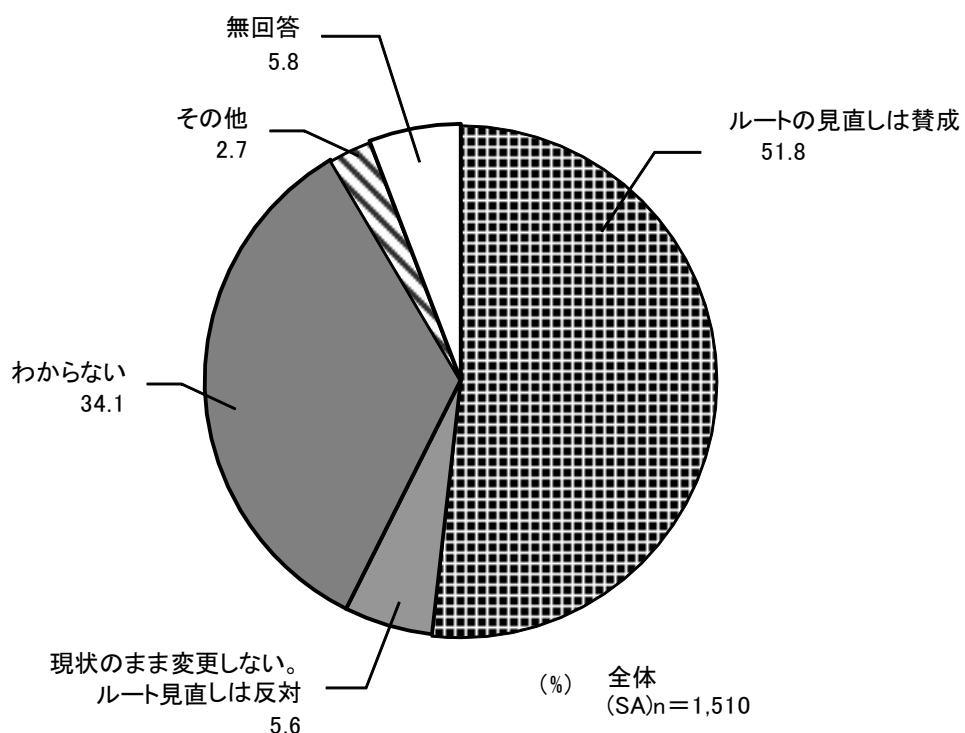
図6-3 コミュニティバスの運行本数の変更



②コミュニティバスのルートの見直しについて

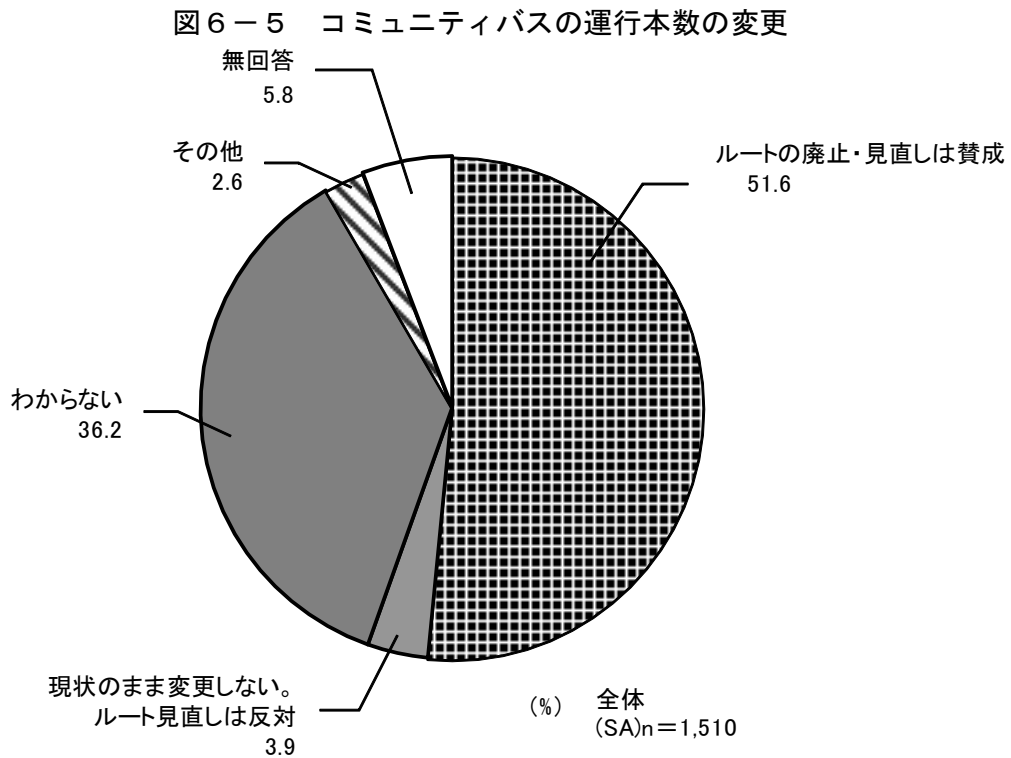
- ルートの見直しについては、51.8%の過半数が、「ルートの見直しは賛成」を選択している。

図6-4 ルートの見直し



③乗合タクシーのルート見直しについて

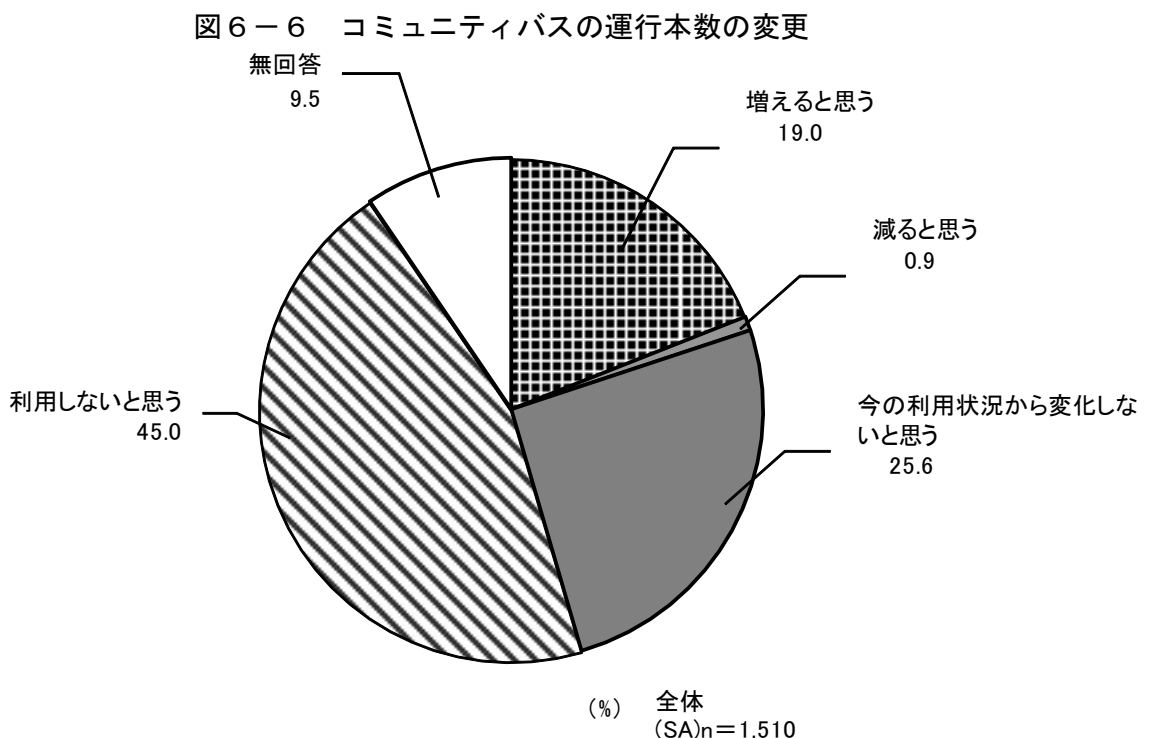
○ コミュニティバスと同様に、乗合タクシーのルート見直しについても、過半数の51.6%の住民が「ルートの廃止・見直しは賛成」を選択している。



④事業変更による利用の変化見通し

○ コミュニティバスや乗合タクシーの事業見直しを行うことで、利用の変化見通しを確認すると、「利用しないと思う」との回答が45.0%、「今の利用状況から変化しないと思う」との回答が25.6%となり、利用が「増えると思う」との回答は19.0%にとどまった。

○ 部分的な見直しを行ったとしても、大きく利用は変化しないものと思われる。

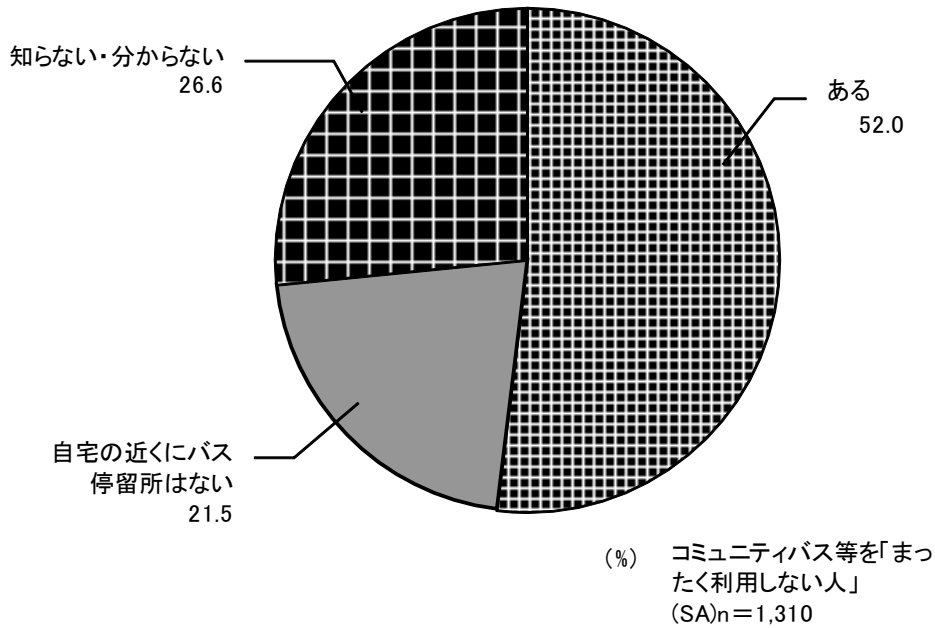


問7. まったく利用しない人の理由等について

(1) 利用しない人の停留所の有無について

- まったく利用しない人に、周辺での停留所の存在を確認すると、「ある」との回答が52.0%で、「知らない・わからない」が26.6%、「自宅の近くに停留所はない」が21.5%となった。
- 自宅近くに停留所がなくて、コミュニティバス等が使えない人は約2割で、バス停留所から300m圏域カバー面積割合85.1%とほぼ同水準となった。

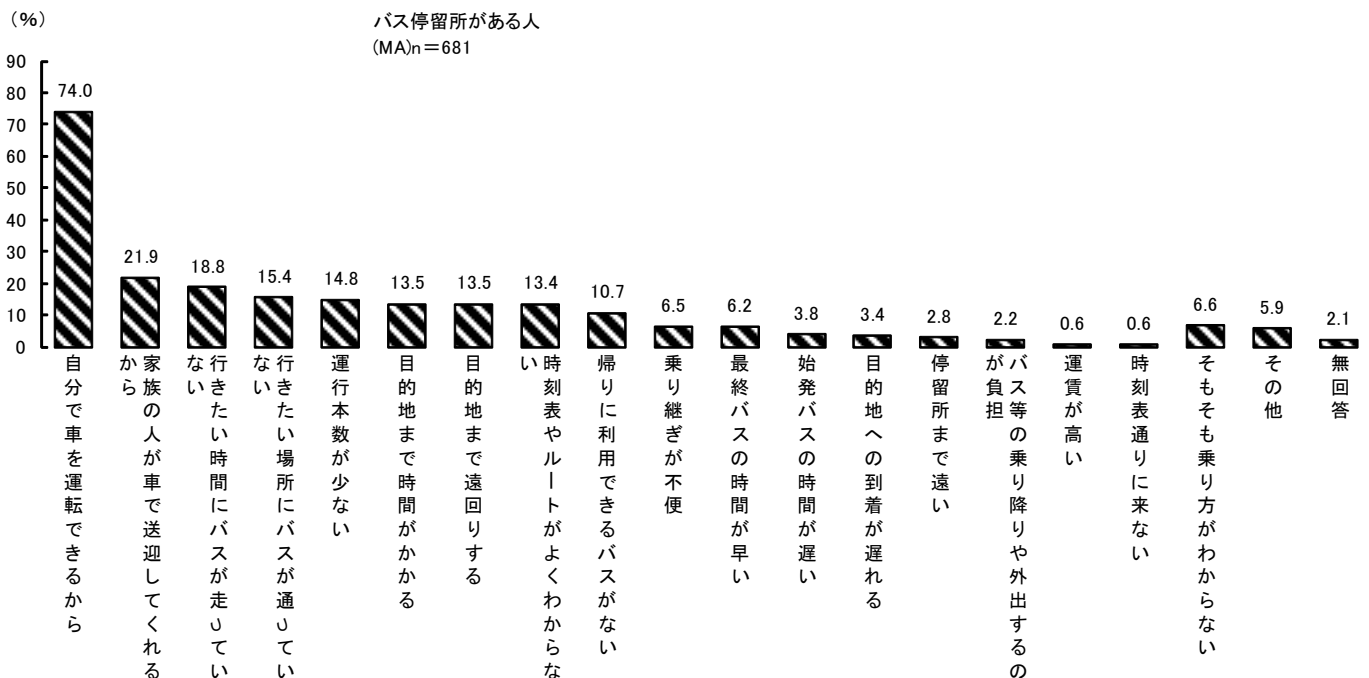
図7-1 停留所の有無



(2) 利用しない理由について

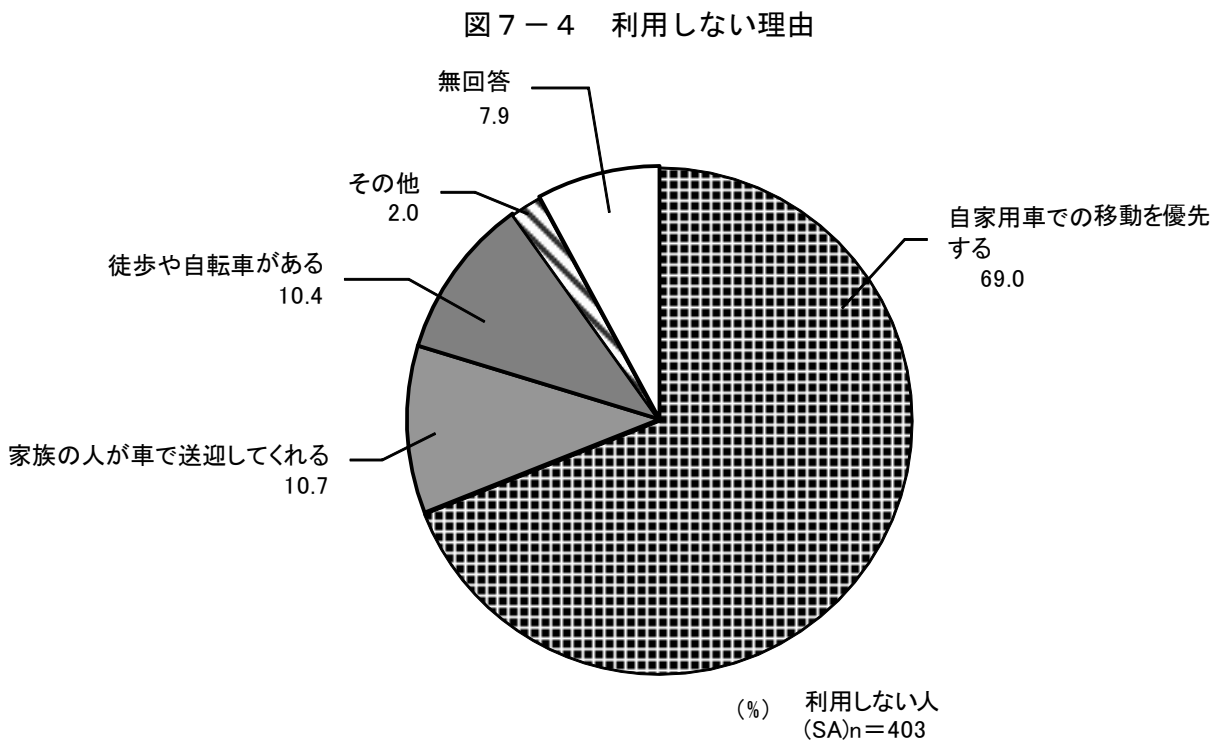
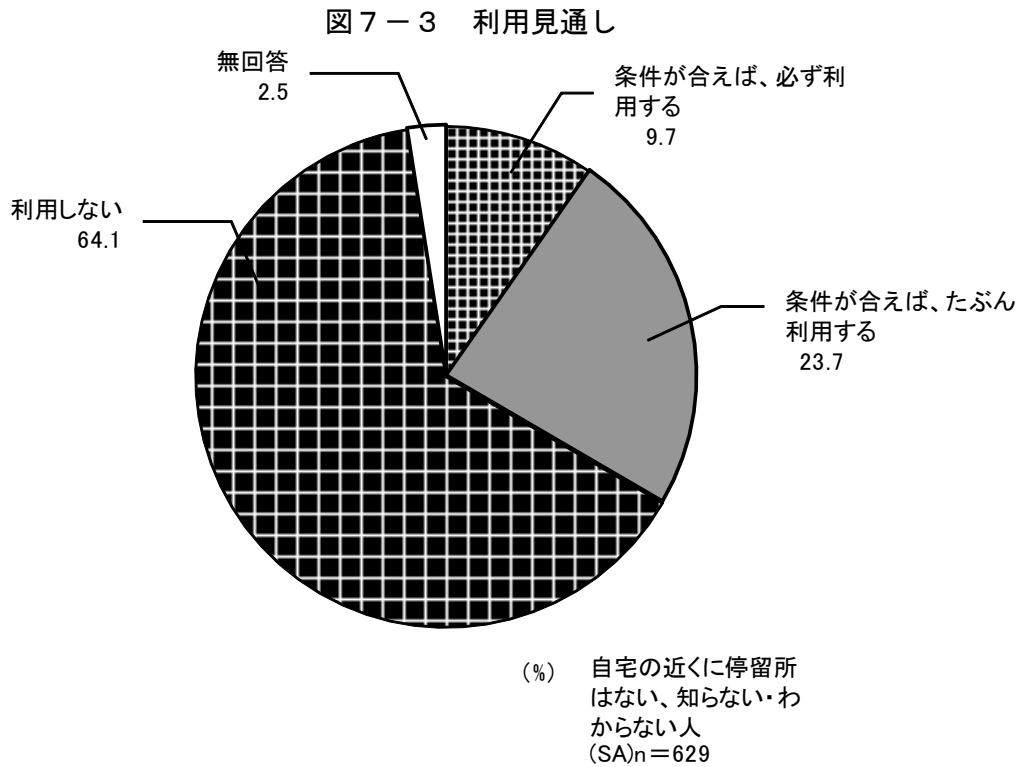
- バス等を利用しない理由は、「自分で車を運転できるから」が74.0%と最も多い。
- 「行きたい場所にバスが通っていない (15.4%)」、「行きたい時間にバスが走っていない (18.8%)」、「運行本数が少ない (14.8%)」、「時刻表やルートがよくわからない (13.4%)」など、公共交通が不便で使えないと言った回答は、高い割合では選択されていない。

図7-2 利用しない理由



(3) 今後の利用見通しについて

- 「近くに停留所がない、知らない・わからない」人に、コミュニティバス等が運行されれば利用するかどうか確認すると、「利用しない」が64.1%となり、「条件が合えば、たぶん利用する」との回答は23.7%、「条件が合えば、必ず利用する」との回答は9.7%となった。
- 利用しない理由は、「自家用車での移動を優先する」が69.0%の割合で選択された。
- 自家用車での移動から転換されなければ、公共交通は利用されない。



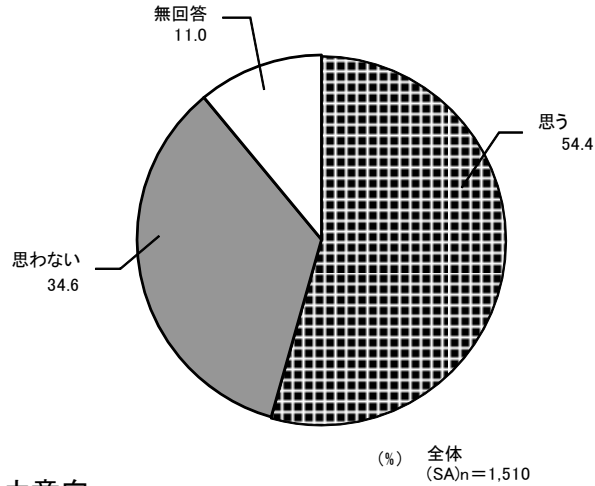
問8. 公共交通への転換見通しについて

(1) 公共交通利用の賛同状況について

① 環境対策による利用協力意向

○ 自動車の排気ガスを減らす「環境対策」による公共交通の利用協力意向は、「思う」との回答が54.4%の割合で認められた。

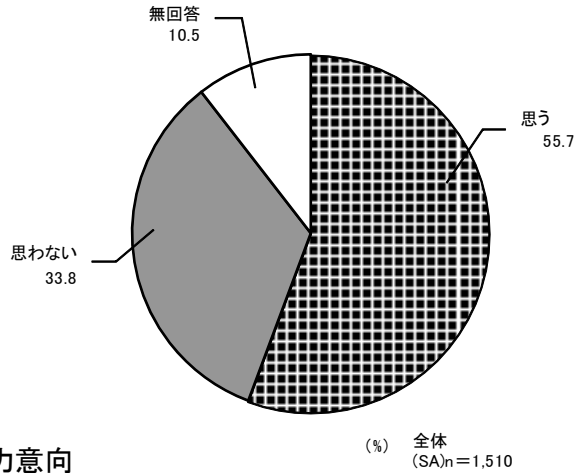
図8-1 環境対策による利用協力意向



② 交通安全対策による利用協力意向

○ 交通事故を減らす「交通安全対策」による公共交通の利用協力意向は、「思う」との回答が55.7%で認められた。

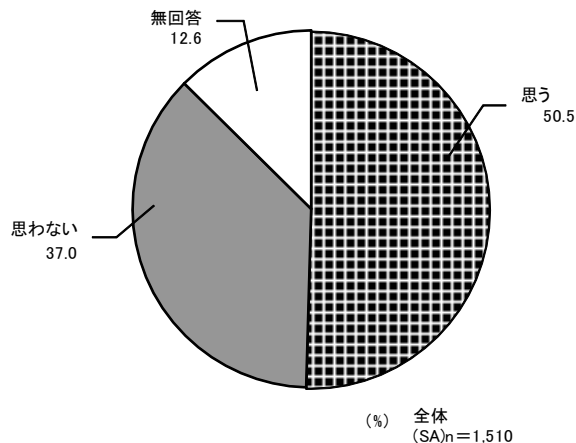
図8-2 交通安全対策による利用協力意向



③ 健康増進対策による利用協力意向

○ 歩く機会が増えることによる「健康増進対策」からの公共交通の利用協力意向は、「思う」との回答が50.5%で認められた。
○ 環境対策・交通安全・健康増進面からの利用促進は、約半数の住民にしか、伝わらない。

図8-3 健康増進対策による利用協力意向

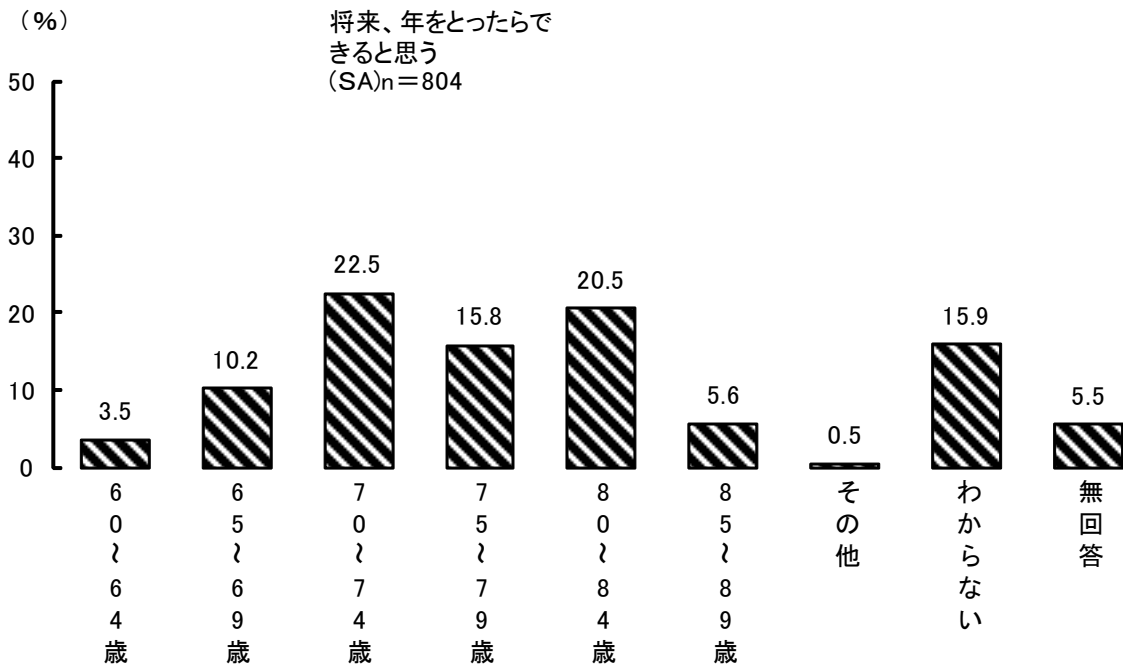
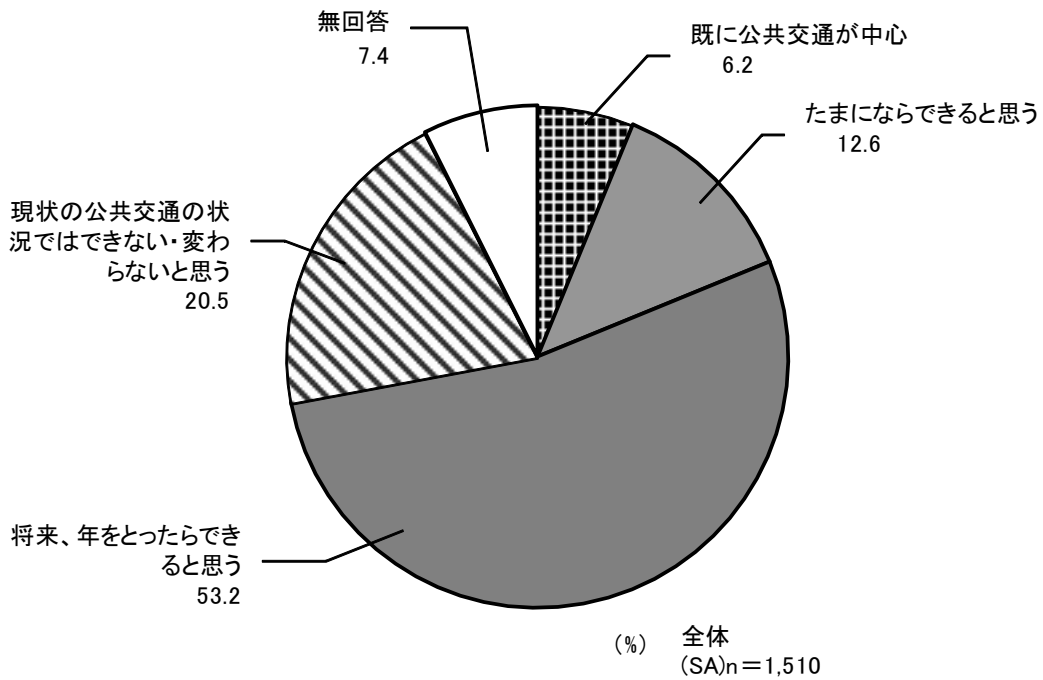


(2) 自家用車化中心からの転換協力について

①自家用車中心の生活から転換ができるか

- 自家用車中心の生活から、公共交通中心への生活に転換できるか確認すると、「たまにならできると思う」との回答は12.6%で、「将来、年をとったらできると思う」との回答が53.2%となった。
- 将来の転換年齢については、「70～74歳」が22.5%、「80～84歳」が20.5%となった。70歳を超えると、自動車の運転を控えようとする意識が芽生えるが、「わからない」との回答も15.9%見られるなど、80歳を超えても元気なうちは、便利な車を手放せない可能性が高い。

図8-4 環境対策による利用協力意向



コミュニティバス“ゆめころん”についてのお知らせ

～公共交通に関するアンケート調査のご協力のお願い～

武豊町役場 総務部企画政策課

日頃は武豊町の町政運営につきまして、深いご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

武豊町では、町民の皆様の生活の足として、コミュニティバス“ゆめころん”を平成22年7月から、乗合タクシー（事前予約制バス）を平成23年9月から運行しています。

コミュニティバスは、運行開始後約3年経過し、全体の利用者数はこれまで増加傾向で推移していますが、4つのルート毎の利用者数の推移には差があり、また、一部利用者の少ないバス停留所が存在します。（裏面参照ください）

コミュニティバスや乗合タクシーを維持・改善していくためには、皆様のさらなる利用が最も効果的なのですが、利用が少ない停留所などは移設や廃止など、見直しの検討を行う必要があります。

そこで、コミュニティバスについて一度お考えいただくと共に、外出状況やコミュニティバス等に対する意向を調査することで、今後の見直しに向けた検討のための基礎資料として参考にさせていただきたいと考えております。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、アンケートについてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

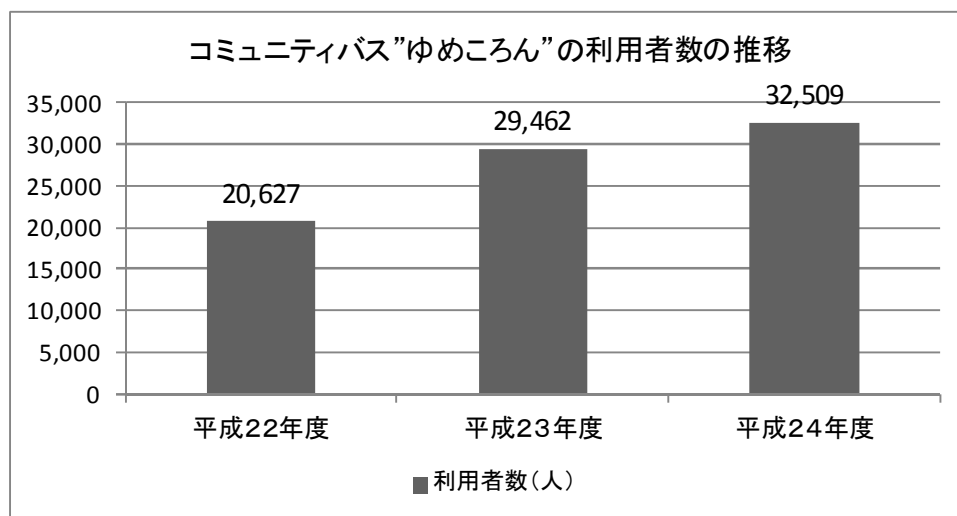
また、アンケート票の取りまとめ作業は、下記業者に委託しておりますが、調査結果は統計的に処理するものであり、本調査の目的以外には使用しません。

趣旨をご理解頂き、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

調査対象	町内に在住されている方から、年齢階層毎に無作為に抽出した約 3,000 名を対象としています。
お問合せ先	武豊町 総務部 企画政策課 担当：池田・榊原 TEL 0569-72-1111 内線 512
入力・集計	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 名古屋 研究開発部 担当：筒井 TEL 052-307-0938

- 送付致しましたアンケートについて、ご本人様によるご回答が難しい場合などは、ご家族の方が代筆していただいても構いません。
- アンケートは全部で9ページです。最後までお答え下さいますよう、お願いいたします。
- 同封しました返信用封筒に入れて、11月8日（金）までに投函してください。切手は不要です。

コミュニティバス“ゆめころん”の利用者数の推移



4ルート全体の利用者数は増加しています。
しかし、ルート別の利用者数は大きく異なっています。
維持・改善していくには、皆様の更なる利用が大切となります。

○平成24年1年間のルート別の利用状況

ルート	緑（右廻り）	緑（左廻り）	赤	青
1日の運行本数	6便/日	5便/日	6便/日	5便/日
H24年度の年間利用者数	6,176人/年	4,420人/年	14,839人/年	7,074人/年
1便当たりの乗車人数	2.9人/便	2.5人/便	6.9人/便	3.9人/便

公共交通への財政投入状況

武豊町では、平成25年度地域公共交通に係る事業の予算として約2,282万円を計上しています。

1世帯当たり（H25.4.1 現在 16,892世帯）年間約1,350円の負担により維持していることとなります。

参考として、広報たけとよ（2013.4.1）で配布・掲載しました「平成25年度 予算と施策」を添付しています。

「安全に暮らせるまち」とするために、地域公共交通以外にも、

- ・防犯灯・街路灯整備事業には833万円
- ・同報無線整備事業には1,483万円

などの事業費の投入を予定しています。

こうした事業費を参考に、ご回答ください。

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上
お住まいは？	1: 北山 2: 中山 3: 下門 4: 馬場 5: 市場 6: 上ヶ 7: 小迎 8: 玉東 9: 玉西1 10: 玉西2 11: 原田 12: 緑 13: 大足 14: 富貴 15: 富貴市場 16: 東大高 17: 市原 18: 新田 地区名が分からない場合 ご自宅の住所の字名を記入 (番地は記入不要です)
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 ()
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

1: 1週間のほぼ毎日	2: 平日はほぼ毎日	3: 週に3～4日
4: 週に1～2日	5: 1ヶ月に数日	6: 年に数日 7: その他

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は? (1つに○をつけてください)	➡	その時の「交通手段」は? (該当するすべての番号に○をつけてください)	➡
問(1) 「通勤・通学」 の場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問(2)へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 乗合タクシー(事前予約制バス) 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()	➡
問(2) 「買い物や 娯楽」 の場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問(3)へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 乗合タクシー(事前予約制バス) 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()	➡
問(3) 「病院や 福祉施設」を 利用する場合	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (4頁の問3へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: コミュニティバス 7: 乗合タクシー(事前予約制バス) 8: 鉄道(名鉄) 9: 鉄道(JR) 10: その他()	➡

「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所を教えてください		➡	外出の「時間帯」は？	
施設等の名前	場所		出発の時間帯	帰宅の時間帯
1: 勤務場所 2: 学校（高校・大学等） 3: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: 20時台 11: その他 () 時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()		()	()
1: ピアゴ武豊店 2: ハロ-フーズ 武豊店 (タック21) 3: イハラフード 武豊店 4: アオキスパー 武豊店 5: イオン半田店 6: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: 20時台 11: その他 () 時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()		()	()
1: 石川病院（武豊） 2: 杉石病院（知多武豊） 3: 半田市立半田病院 4: その他 ()	1: 武豊町内 2: 半田市 3: その他知多地域 4: 名古屋市 5: その他 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: 20時台 11: その他 () 時
複数ある場合はこちらに記入 ()	()		()	()

問3. 公共交通による移動についてお伺いします。

問3-1. 日常の公共交通(鉄道・コミュニティバス・タクシー等)での移動に不便を感じていますか？ (1つに○)

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3-1で、1・2を選択した、不便に感じている人にお伺いします。
不便を感じる理由は何ですか？ (3つまでに○)

- 1: 自宅から鉄道やバス停留所までが遠い
- 2: 使いたい時間に運行していない、時間があわない
- 3: 行き先があわない
- 3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が高いため使いづらい
- 4: 家族等に送迎してもらおうと思っても、送迎する家族の都合とあわない
- 5: 介助を必要とするが、介助者を自由に確保できない
- 6: 足が悪く杖が必要となるなど、今の公共交通は使いづらい
- 7: その他 ()

問3-2. 公共交通(鉄道・コミュニティバス・タクシー等)が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？ (1つに○)

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4. バス等の利用実態についてお伺いします。

問4-1. 武豊町内のコミュニティバスの利用状況についてお伺いします。

(1)あなたはコミュニティバスをどの程度利用されますか？ (1つに○)

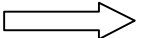
1: 週に3日以上 2: 週に1~2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど又は全く乗らない ⇨ (問4-2へ)

(2)コミュニティバスの主な利用目的をお答えください。 (2つまで○)

- 1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
- 6: 通院 7: 福祉施設の利用 8: その他公共施設の利用
- 9: その他 ()

問4-2. 武豊町内の「乗合タクシー(事前予約制バス)」についてお伺いします。

(1)あなたは「乗合タクシー」を知っていますか？ (1つに○)

- 1: 利用方法も含めて知っている 2: 利用方法は知らないが、知っている
3: 知らない  (問5-1へ)

(2)あなたは「乗合タクシー」をどの程度利用されますか？ (1つに○)

- 1: 週に3日以上 2: 週に1~2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど又は全く乗らない

問5. コミュニティバスの事業実施効果についてお伺いします。

問5-1. 平成22年7月から「武豊町コミュニティバス」の運行を開始しました。

(1)コミュニティバスや乗合タクシーの運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。

選択肢の中から、あてはまる番号を全て選んでください。 (すべてに○)

- 1: 新しい交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う
2: 安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う
3: バス交通が無い交通空白地域だった時と比べて、生活の質が「豊かになった」と思う
4: 何も変わらない
5: わからない

(2)コミュニティバスや乗合タクシーなどの運行をきっかけに、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。選択肢の中から、あてはまる番号を選んでください。

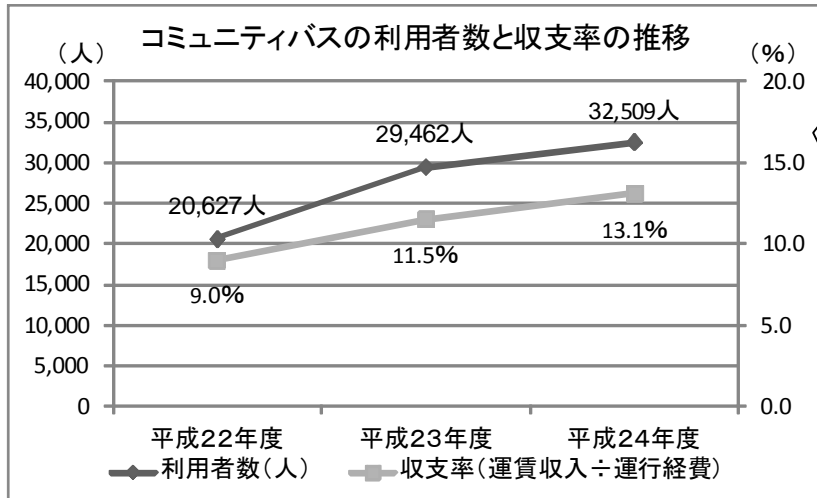
(1つに○)

- 1: 外出する機会が増えた 2: 何も変わらない
3: わからない 4: その他 (_____)

問6. 武豊町の公共交通(バス)事業についてお伺いします。

武豊町では、平成 25 年度、コミュニティバスや乗合タクシー等の事業予算として約 2,282 万円を計上しています。この金額は1世帯当たりでは年間約1,350 円の負担となります。

参考として、広報たけとよ(2013.4.1)「平成 25 年度 予算と施策」を添付しました。他の施策への事業費(税金投入)状況をご覧いただき、次の質問にご回答ください。



- コミュニティバスの利用者数はこれまで増加しています。
- 平成 24 年度の運賃収入は年間約 270 万円でした。
- 高齢者等、移動手段を持たない人のために運賃を安くしているので、収支率(運賃収入÷運行経費)は 13.1%と低い状況です。

問6-1. 「コミュニティバスや乗合タクシー」を維持するために1世帯当たり年間約 1,350 円(月あたり 112 円)程度の負担をしています。この負担額を、どう思いますか？ (1つに○)

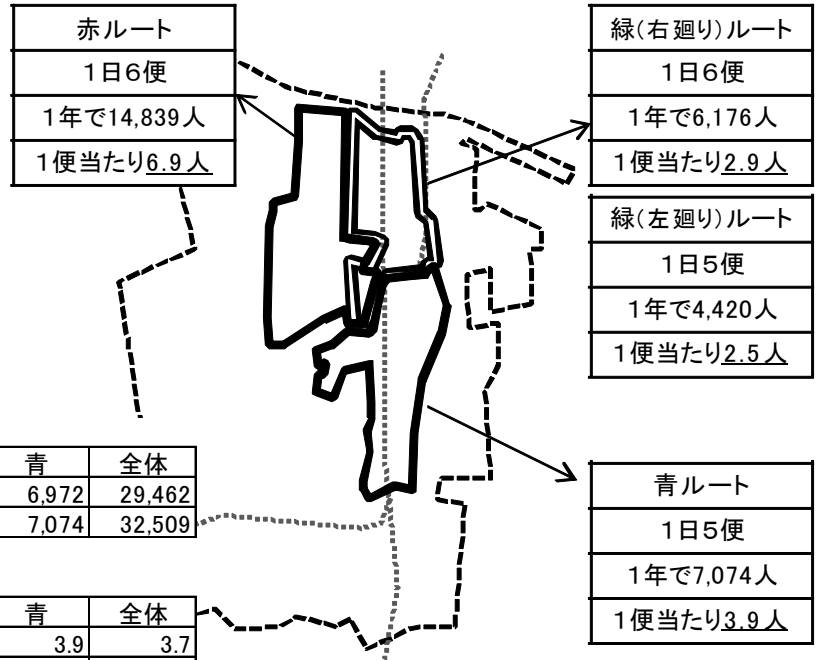
- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-2. 今後の『税金負担』と『公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)』のあり方について、どのように考えるべきですか？ (1つに○)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい(朝・夕便の増便など)
- 3: 今以上の税金投入を行い、西部や南部地区等にも定時定路線のバスを運行してほしい
- 4: 運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 5: 運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 6: サービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい
(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 7: わからない。
- 8: その他(_____)

問6-3.

「コミュニティバス」は、緑(右廻り・左廻り)・赤・青の4つのルートからなります。2台のバスを投入して概ね同じ運行本数になるように運行していますが、ルートにより利用者数に偏りがあります。



年間利用者数(単位:人)

	緑右廻り	緑左廻り	赤	青	全体
平成23年度	5,951	4,032	12,507	6,972	29,462
平成24年度	6,176	4,420	14,839	7,074	32,509

1日1便当たりの乗車人員(単位:人/便)

	緑右廻り	緑左廻り	赤	青	全体
平成23年度	2.8	2.2	5.8	3.9	3.7
平成24年度	2.9	2.5	6.9	3.9	4.1

(1)「コミュニティバス」は2台のバスで運行するため、1日で最大 22 便程度までしか運行できません。合理的な便数の配分のためには、ルート毎の「利用者数の違い」に応じて、4つのルートの「運行本数を変える」対応が考えられます。1便当たりの利用者数の少ない「緑ルート」の運行本数を減らし、利用者数の多い「赤や青ルート」の便数を増やすことをどう思われますか？ (1つに○)

- 1: 緑ルートの運行本数を減らし、赤・青ルートの本数を増やすことは賛成できる
- 2: 現状のまま運行本数は変えない。反対である
- 3: わからない
- 4: その他 (_____)

(2)「コミュニティバス」は、バス停留所毎に利用者数が異なり、一部では極端に利用者の少ないバス停留所が存在します。こうしたバス停留所を廃止したり位置を変えることにより、ルートを見直すことが考えられます。あなたは、ルートの見直しをどう思われますか？ (1つに○)

- 1: ルートの見直しは賛成
- 2: 現状のまま変更しない。ルート見直しは反対
- 3: わからない
- 4: その他 (_____)

(3)「乗合タクシー(事前予約制バス)」も、停留所毎に利用者数が異なり、一部では最近全く利用されていない停留所が存在します。利用者の少ない乗合タクシーのルートの見直しをどう思われますか？ (1つに○)

- 1: ルートの廃止・見直しは賛成
- 2: 現状のまま変更しない。見直しは反対
- 3: わからない
- 4: その他 (_____)

(4)コミュニティバスや乗合タクシーの見直しを図ることで、今後、あなたのこれらバス・乗合タクシーの利用(頻度)については、変化しますか？ (1つに○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1: 増えると思う | 2: 減ると思う |
| 3: 今の利用状況から変化しないと思う | 4: 利用しないと思う |

問7. コミュニティバス等を「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※コミュニティバスや乗合タクシーを利用する人(当てはまらない人)は、次の問8にお進みください。

問7-1. あなたのお住まいの近くに停留所がありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1: ある | → 問7-2を回答ください |
| 2: 自宅の近くに停留所はない | } → 問7-3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | |

問7-2. 上記問7-1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「コミュニティバスや乗合タクシーを利用しない理由」をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: 停留所まで遠い | 4: バス等の乗り降りや外出するのが負担 |
| 5: 行きたい場所にバスが通っていない | 6: 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7: 運行本数が少ない | 8: 運賃が高い |
| 9: 目的地まで時間がかかる | 10: 目的地まで遠回りする |
| 11: 時刻表通りに来ない | 12: 目的地への到着が遅れる |
| 13: 始発バスの時間が遅い | 14: 最終バスの時間が早い |
| 15: 帰りに利用できるバスがない | 16: 乗り継ぎが不便 |
| 17: 時刻表やルートがよくわからない | 18: そもそも乗り方がわからない |
| 19: その他 (_____) | |

問7-3. 上記問7-1で、2・3を選択した、近くに停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くにコミュニティバスや乗合タクシー等が運行されれば、あなたは利用しますか？ (1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | |
| 3: 利用しない | |
| ※利用しない理由は？ | |
| ア) 自家用車での移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ロ) 徒歩や自転車がある | リ) その他 (_____) |

問8. 公共交通の転換見通しについてお伺いします。

問8-1. コミュニティバス“ゆめころん”などの公共交通の維持のためには、たくさんの人に利用していただく必要があります。

(1)コミュニティバス等の維持のために、下記の示す利用であれば、公共交通を利用したいと思いませんか。

① 自動車の排気ガスを減らす「環境対策」なら協力できる。 (1つに〇)

1: 思う 2: 思わない

② 交通事故を減らす「交通安全対策」なら協力できる。 (1つに〇)

1: 思う 2: 思わない

③ 車より歩く機会が増えるので「健康増進対策」なら協力できる。 (1つに〇)

1: 思う 2: 思わない

(2)あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに〇)

1: 既に公共交通が中心

2: たまにならできると思う

3: 将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換できると思いますか？

ア) 60～64歳 イ) 65～69歳 ウ) 70～74歳 エ) 75～79歳

オ) 80～84歳 カ) 85～89歳 キ) その他(歳)

ク) わからない

4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、平成25年11月8日(金)までに投函してください。